

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

第37回理事会

次第

1 議決事項

第1号議案	2026年度 事業計画及び収支予算	P4
資料1	2026年度 事業計画書 (案)	P6
資料2	2026年度 正味財産増減予算書 (案)	P12
資料3	2026年度 資金調達及び設備投資の見込みについて (案)	P13
資料4	2026年度 借入限度額 (案)	P14
補足資料①	収支予算書 (案)	P15
補足資料②	収支予算の概要	P16
資料5	当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容 (案)	P20
第2号議案	役員賠償責任保険	P23
第3号議案	常勤理事の報酬の額	P24
第4号議案	財務委員会の委員の選任	P25
資料6	財務委員会名簿	P26
第5号議案	理事の利益相反取引の承認	P28
資料7	GREEN×EXPO 2027 ボランティア事業に関する基本協定書 (横浜市)	P31
資料8	GREEN×EXPO 2027 ボランティア事業に関する年度協定書 (横浜市)	P34
資料9	GREEN×EXPO 2027 ボランティア事業に関する基本協定書 (神奈川県)	P37
資料10	GREEN×EXPO 2027 ボランティア事業に関する年度協定書 (神奈川県)	P40
資料11	GREEN×EXPO 2027 市民参加 (共創) プログラムに関する基本協定書 (横浜市)	P43
資料12	GREEN×EXPO 2027 市民参加 (共創) プログラムに関する年度協定書 (横浜市)	P47
資料13	GREEN×EXPO 2027 市民参加 (共創) プログラムに関する基本協定書 (神奈川県)	P50

2 報告事項

第1号報告	GREEN×EXPO 2027の進捗状況	別紙
-------	----------------------	----

3 その他

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 第37回理事会 役員出席者名簿

(第37回理事会時点。協会役職順・氏名五十音順。敬称略)

協会役職	氏名	所属・役職	ご出欠	オンライン参加
会長・代表理事	筒井 義信	一般社団法人 日本経済団体連合会 会長	出席	
事務総長・代表理事	河村 正人	事務総長	出席	
副会長・理事	上野 孝	一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会 会頭	出席	
		横浜商工会議所 会頭		
副会長・理事	黒岩 祐治	神奈川県知事	出席	○
副会長・理事	小林 健	日本商工会議所 会頭	欠席	
副会長・理事	滝澤 秀之	一般社団法人 神奈川経済同友会 代表幹事	出席	
副会長・理事	山口 明夫	公益社団法人 経済同友会 代表幹事	欠席	
副会長・理事	野並 直文	一般社団法人 神奈川県経営者協会 会長	欠席	
副会長・理事	山中 竹春	横浜市長	出席	○
副会長・理事	和田 新也	一般社団法人 日本造園建設業協会 会長	出席	
理事	草野 満代	フリーアナウンサー	欠席	
理事	小室 淑恵	株式会社 ワーク・ライフバランス 代表取締役社長	出席	
理事	滝 久雄	株式会社ぐるなび・株式会社NKB両社、取締役会長 公益財団法人 日本交通文化協会 理事長	出席	
理事	田代 桂子	公益社団法人 経済同友会 副代表幹事 大和証券グループ本社 取締役 兼 執行役員副社長	出席	○
理事	田中 里沙	学校法人 先端教育機構 事業構想大学院大学 学長	出席	
理事	ナリン アドバニ	entomo pte. ltd. Co-Founder BIPROGY 株式会社 社外取締役	出席	
理事	南場 智子	株式会社 デイ・エヌ・エー 代表取締役会長	欠席	
理事	宮永 俊一	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会財務委員会委員長	出席	
理事	望月 澄枝	横浜商工会議所 女性会 会長	出席	
理事	横田 響子	株式会社 コラボラボ 代表取締役	欠席	
理事	吉高 まり	一般社団法人 パーチュデザイン 代表理事 東京大学教養学部 客員教授	出席	
事務次長・ 業務執行理事	佐藤 速水	事務次長	出席	
事務次長・ 業務執行理事	小池 政則	事務次長	出席	
事務次長・ 業務執行理事	栗本 尚幸	事務次長	出席	
事務次長・ 業務執行理事	八山 幸司	事務次長	出席	
事務次長・ 業務執行理事	千葉 信義	事務次長	出席	
監事	太田 眞晴	元日本公認会計士協会 神奈川県会 会長	出席	
監事	二川 裕之	元神奈川県弁護士会 会長	欠席	

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会
第37回理事会
議案書

議決事項 第1号議案

2026年度 事業計画及び収支予算

定款第42条第1項の規定により、2026年度の事業計画書、正味財産増減予算書（収支予算書）、資金調達及び設備投資の見込みについて、資料1から資料3のとおりとすること、並びに公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会経理規程第31条第2項の規定により2026年度の借入限度額について資料4のとおりとすることを提案します。

また、公益法人法及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項により、2026年度開始の日において行う公益目的事業の種類等について資料5のとおりとすることを提案します。

- ・資料1 2026年度 事業計画書（案）
- ・資料2 2026年度 正味財産増減予算書（案）
- ・資料3 2026年度 資金調達及び設備投資の見込みについて（案）
- ・資料4 2026年度 借入限度額（案）
- ・補足資料① 収支予算書（案）
- ・補足資料② 収支予算の概要
- ・資料5 当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容

【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款
（事業計画及び収支予算）

第42条 協会の事業計画書及び収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 経理規程

第31条 前条に定める収入により、なお資金が不足する場合、又は不足するおそれがある場合には、金融機関等からの借入金により調達するものとする。

2 金融機関等からの借入による資金の調達は、理事会の承認を受けた範囲内で経理責任者がこれを行う。

○公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律

(財産目録等の提出等)

第22条 公益法人は、財産目録等（定款を除く。）について、前条第一項に規定する書類にあっては毎事業年度開始の日の前日までに（公益認定を受けた日の属する事業年度にあっては、当該公益認定を受けた後遅滞なく）、その他の書類にあっては毎事業年度の経過後三月以内に（公益認定を受けた日の属する事業年度にあっては、同条第二項各号に掲げる書類及び社員名簿を当該公益認定を受けた後遅滞なく）、内閣府令で定めるところにより、行政庁に提出しなければならない。

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

2026 年度 事業計画書

(2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで)

2026 年度は、開幕を迎えるまでの準備を進める 1 年間であり、2027 年 3 月 19 日には開幕を迎え、同年 9 月 26 日までの 192 日間の会期が始まる、当協会としてとても重要な 1 年となります。各分野において計画・検討した内容を博覧会に実装し、博覧会事業としての運営を進めます。

広報・プロモーションについて、効果的な情報発信により機運醸成・来場促進に取り組むとともに、会期前及び会期中の入場券販売を着実に進めます。

公式参加者への支援について、支援体制を拡充し、参加契約の締結及び契約締結後の出展準備に関するフォロー等を行います。

各分野の事業実施について、会場整備では、各工事を進捗させ出展者への引き渡しを行い、着実に進めるとともに、会期中の施設管理を行います。会場運営では、会期中を想定した運営準備を各領域で進め、実施するとともに、安全を確保するための危機管理体制を構築します。

市民・企業・団体の参加について、出展や協賛、催事参加などにより参加する多くの共創パートナーと連携を進めるほか、スタートアップ企業の参加を含め博覧会事業としての魅力創出に取り組みます。

持続可能性に向けた取組について、サステナビリティ戦略等に基づく取組を推進するとともに、持続可能性に配慮した調達コードに基づき、環境負荷の低減などを進めます。また、多様な主体が参画、来場する博覧会を目指し、アクセシビリティやジェンダー平等・女性参画などインクルージョンの取組を推進します。

1 認知拡大・機運醸成・来場促進に関する事業の実施

(1) 広報・プロモーション

- ・幅広い世代への認知拡大及び全国的な機運醸成を進めるため、多様なメディアを活用した広報を行います。
- ・公式ホームページや公式 SNS による情報発信に加え、動画プラットフォームを活用したコンテンツ準備状況のタイムリーな発信を行います。
- ・公式マスコットキャラクター等を活用した公式グッズの販売等、ライセンス事業を展開します。
- ・参加者、国、開催自治体等と連携し、関連イベント等の機会を活用したプロモーションを展開します。
- ・若年層への博覧会のテーマ・開催意義の浸透や SDGs の行動促進等を目的とした、学生向け教育プログラムを実施します。
- ・開催期間中における情報発信を円滑に行えるよう、メディアセンターの

設置準備・開設を行います。

(2) 来場促進及び入場券販売促進に関する取組

- ・開幕までの節目となる年度当初、半年前、100日前～開幕前に念頭を置いて集中的なプロモーションを展開し、入場券の販売促進を図ります。
- ・教育旅行を含む団体旅行の誘致・プロモーションを行います。

2 公式参加者への出展支援

(1) 公式参加者（参加を表明した外国政府・国際機関）への支援

- ・公式参加者の工事・出展等準備への支援体制を拡充します。行政機関・民間企業への問い合わせ対応や手続き、外国語対応を一括して支援するためのワンストップショップ（OSS）を運営します。
- ・公式参加者出展の建設工事が円滑に進むよう、日本の建築法令・商慣習に基づき、進捗管理等の支援を行うプロジェクトマネージャー等を配置します。

(2) 途上国支援プログラムの構築

- ・途上国の公式参加者の参加を支援するプログラムを策定し、出展支援や運営準備を進めます。

(3) 国際園芸家協会（以下「AIPH」という。）及び博覧会国際事務局（以下「BIE」という。）との調整等

- ・博覧会の成功に向け、AIPH 及び BIE との各種会議での進捗報告を行うとともに、各事務局と連絡・調整を行います。
- ・特別規則や参加ガイドライン等について、政府関係省庁と連携し、BIE 総会での承認や協議を経て策定していきます。

(4) 公式参加者に対する情報発信

- ・公式参加者の出展準備に必要な情報を発信し、GREEN×EXPO 2027 に対する理解や出展準備を促進します。
- ・対面で実施する国際参加者会議 (International Participants Meeting) のほか、オンラインで実施する Official Participants Seminar を通じて、出展準備の各段階で公式参加者が必要とする情報を適時・適切に発信します。

3 各分野の事業の実施

(1) 会場整備

- ・会場整備工事、造園工事及び仮設建築工事を実施します。
- ・仮設建築工事が完了後、順次出展者へ引き渡しを行います。
- ・開幕後に、植物や各施設の維持管理業務を開始します。

(2) 輸送対策

- ・来場者輸送実施計画に基づき、会場周辺の混雑緩和対策やシャトルバス

の運行計画等について、周辺自治体や警察等との調整を深度化し、円滑な来場者輸送を実施します。来場者輸送実施計画は、検討の進捗に合わせて更新を行います。

- ・来場者輸送と一般交通を円滑に共存させるため、交通需要マネジメントを中心とした総合的な交通マネジメントを実施します。周辺自治体、経済界等と対策を検討する会議体において、トライアル・検証を行いながら具体的な対策に取り組みます。

(3) 植物監理

- ・植物監理・調達・維持管理に関する検討の深度化を図り、運営・管理を実施します。
- ・植物調達パートナー等と連携し、植物を会場へ搬入・納品を行います。
- ・植物廃棄・リサイクル・再利用に関する具体的な調整を図り、運営に向けた準備を進めます。

(4) 主催者展示

- ・主催者展示（テーマ館、園芸文化展示及び屋外展示）について、展示物の制作・設置等を行います。また、来場者の体験価値を高めるための運営計画を定め、スムーズな運営・管理を実施します。

(5) 出展・出店

ア 一般参加者出展

- ・Village 出展・花・緑出展の出展に向けた手続や展示内容の調整等を実施し、開幕に向け魅力あふれる出展を実現します。

イ 営業出店

- ・テーマ営業出店・一般営業出店の出店に向けた手続や営業内容の調整等を実施するとともに、出店者向け説明会を開催し、開幕に向け魅力あふれる出店を実現します。

ウ 政府出展（日本政府苑）

- ・国土交通省・農林水産省と連携し、屋外工事、屋内展示の制作・設置等を行います。また、行催事・広報、管理運営の具体化を行い、開幕に向け魅力あふれる出展を実現するとともに、開幕後の運営を行います。

エ コンペティション

- ・規則に基づいたコンペティションについて、審査委員の依頼や贈呈品の作成等、会期中の審査会実施に向けた、関係機関や団体との調整を進めます。また、本博覧会独自のコンペティションについて、参加勧奨を実施します。

(6) 行催事

- ・魅力的な博覧会の実現のために、一般参加催事を募集・選定を行うほか、多様な主体による催事参加の募集・選定も行います。
- ・会期中の主催者催事実施に向けた個別計画の策定を深度化します。また、博覧会の価値を発信するために、テーマ催事を検討し、実施します。
- ・博覧会の開幕を記念する式典として開会式を実施します。閉幕式、ナショナルデー、スペシャルデーの実施に向けた検討の深度化を進めます。

(7) 協賛

- ・博覧会の魅力向上に向けて、多くの企業・団体にご参画いただくため、プロジェクト協賛や一般協賛などの共創パートナーを募集します。また、協賛いただいた皆さまとの円滑な連携を図るため、継続的なフォローを行います。

(8) ボランティア・市民参加（共創）プログラム

- ・博覧会を共に盛り上げ支えていただくパートナーとしてボランティアを募集し、運用準備を行うとともに、ボランティアセンターの開設・運用を行います。
- ・博覧会の世界観を共に創り上げる参加型の取組として、市民参加（共創）プログラムの準備を行い、実施します。

(9) 来場者サービス・運営管理

- ・入場ゲートを設置し、運用するほか、会場内の安全を確保するため、関係者入場証（AD証）を発行し、関係者ゲート（認証）を運営します。
- ・来場者サービスの品質を確保するため、来場者サービス実施計画を策定し、スタッフ研修を実施します。
- ・来場者の利便性を高めるため、情報発信体制を構築し、デジタルマップやデジタルサイネージ等を整備・運用します。
- ・多様な来場者の移動を支援するため、会場内輸送サービスの導入調整を行い、運用します。
- ・暑熱環境下でも快適に滞在できるよう暑熱対策を実施します。
- ・会場環境を清潔に保ち適切に廃棄物を管理するため、実施計画と運営マニュアルを整備し、研修・訓練のうえ清掃・廃棄物管理業務を実施します。
- ・展示物品の円滑な搬入を確保し景観にも配慮するため、会場全体を保税展示場として運営します。
- ・統一感ある運営体制と循環の取組を推進するため、産学連携・植物由来素材の活用等によりユニフォームプロジェクトに取り組みます。
- ・キャッシュレス決済の効果的・効率的な運営を行います。

(10) 賓客接遇

- ・賓客接遇基本計画に基づき、賓客接遇マニュアルを策定し、スタッフの研修・実地訓練を行い、賓客接遇を実施します。

(11) ICT基盤・サイバーセキュリティ環境の整備

- ・博覧会運営を円滑に行うため、通信インフラを整備し、会期中の運用・保守を実施します。
- ・会期中の各システムを安全に運用するため、関係機関と連携してサイバーセキュリティ対策を実施します。
- ・無線機を効率的かつ安定して利用するため、周波数利用計画を策定し、運用調整を実施します。

(12) 危機管理体制の構築

- ・会場の安全を確保するため、万全な警備体制を整備し、会場警備を実施

します。

- ・災害等に適切に対処するため、関係機関と連携した防災体制を構築し、必要な対応を実施します。
- ・傷病者発生時の対応を確実にするため、医療救護体制を整備し、応急処置及び救急搬送を実施します。
- ・衛生リスクを低減するため、保健所と連携した会場衛生体制を整備し、衛生対策を実施します。
- ・安全対策を一元的に統括するため、総合指揮センターを設置し、会場内の安全対策全般を指揮統括します。

(13) 持続可能性・インクルージョンに向けた取組

- ・協会内及び参加国・企業・団体等に対して、持続可能性やアクセシビリティに配慮した取組への理解と実施促進を図っていきます。

ア サステナビリティに関する取組

- ・サステナビリティ戦略および関連計画に基づく協会全体の取組を推進します。
- ・サステナブルなイベント運営を実現するため、イベント・サステナビリティマネジメントシステム（ESMS）を運用し、ISO20121の認証を取得・維持します。
- ・建設・準備段階に焦点を当てたサステナビリティレポートを作成し、AIPHに報告します。
- ・持続可能性に配慮した調達コードの運用により、環境や人権に配慮した調達を推進します。
- ・協会が必要とする財産は、持続可能性に配慮した調達コードに基づき調達するとともに、管理・処分にあたっては「資源循環の考え方」等に基づき取組を推進します。
- ・気候変動、生物多様性、資源循環などの具体的な取組を推進します。

イ インクルージョンに関する取組

- ・アクセシビリティ・ガイドラインに基づいた博覧会会場の整備、運営の準備を進めつつ、当事者参画のもと具体的な実装に取り組みます。
- ・ジェンダー平等・女性活躍について、大阪・関西万博のレガシーを引き継ぎつつ、機運醸成や会期中のイベント企画準備を進めます。

(14) 公式記録

- ・博覧会の開催記録を保存・継承するため、公式記録集の検討・作成を行います。

4 事務局体制の整備・強化と健全な財務運営

(1) 事務局体制の整備・強化

- ・国・経済界・自治体等から多様な人材を確保し、開幕に向けて事務局体制を強化します。

- ・開幕に向け、事務局の拠点として会場内に協会管理センター（仮称）を新設し、その他拠点を含め適切な管理・運用の推進を図るとともに、会期中の運営体制を構築します。

（２） ガバナンス機能の強化

- ・コンプライアンスの推進に向け、外部の有識者を加えたコンプライアンス委員会を定期的を開催するとともに、役職員に対するコンプライアンス研修を継続的に実施します。また、引き続き内部通報窓口を運用します。
- ・入札・契約における適正な競争環境や適切な履行の確保を図ります。

（３） 効果的・効率的な予算の管理・執行

- ・資金計画に基づく資金調達・予算管理を行います。
- ・予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減を行います。
- ・収納債権管理体制の構築を行います。

（４） 財務基盤の強化に向けた資金調達

- ・寄附金の目標金額の達成に向けて募集活動を推進します。
- ・補助金等の各種資金の確保に向けた調整を図ります。

2026年度 正味財産増減予算書(案)

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I.一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
事業収益	8,652,888		8,652,888
協賛収益	387,123		387,123
入場券販売収益	3,346,805		3,346,805
輸送事業関連収益	364,285		364,285
ライセンス事業収益	360,000		360,000
営業施設関連収益	714,000		714,000
受託事業収益	3,309,542		3,309,542
その他の事業収益	171,133		171,133
受取補助金等	2,294,262		2,294,262
受取国庫補助金振替額	1,147,131		1,147,131
受取地方公共団体補助金振替額	1,147,131		1,147,131
受取寄附金	1,147,282		1,147,282
受取民間寄附金等振替額	1,147,282		1,147,282
経常収益計	12,094,432	0	12,094,432
(2)経常費用			
事業費用	20,354,890		20,354,890
役員報酬	72,732		72,732
給料	724,405		724,405
臨時雇賃金	20,000		20,000
法定福利生費	264,449		264,449
旅費	1,489		1,489
通信運搬費	44,067		44,067
備品消費費	1,100		1,100
印刷製本費	939,112		939,112
光熱水料	14,181		14,181
委託借料	384,526		384,526
賃保借料	11,051,782		11,051,782
支払報償	339,515		339,515
支払報償	480,000		480,000
支払報償	141,142		141,142
支払報償	481,700		481,700
支払報償	1,880,604		1,880,604
支払報償	3,514,086		3,514,086
経常費用計	20,354,890	646,475	21,001,365
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,260,458	△ 646,475	△ 8,906,933
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,260,458	△ 646,475	△ 8,906,933
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,260,458	△ 646,475	△ 8,906,933
一般正味財産期首残高			△ 2,970,868
一般正味財産期末残高			△ 11,877,801
II.指定正味財産増減の部			
受取補助金等	16,382,885		16,382,885
受取国庫補助金	8,191,442		8,191,442
受取地方公共団体補助金	8,191,443		8,191,443
受取寄附金	3,145,742		3,145,742
受取民間寄附金等	3,145,742		3,145,742
一般正味財産への振替額	△ 3,441,544		△ 3,441,544
当期指定正味財産増減額	16,087,083	0	16,087,083
指定正味財産期首残高			3,084,620
指定正味財産期末残高			19,171,703
III.正味財産期末残高			7,293,901

事業 年度	自	2026年4月1日	法人名	公益社団法人
	至	2027年3月31日		2027年国際園芸博覧会協会

2026年度 資金調達及び設備投資の見込みについて(案)

(1) 資金調達の見込みについて

(単位:千円)

借入の予定	あり	
借入先	金額	用途
横浜銀行	14,188,541	運転資金として

(2) 設備投資の見込みについて

(単位:千円)

設備投資の見込み	あり	
設備投資の内容	支出予定額	資金調達方法
会場整備にかかる設計・工事等	24,646,211	受取補助金、入場券収入等
器具及び備品	199,020	入場券収入等

事業 年度	自	2026年4月1日	法人名	公益社団法人
	至	2027年3月31日		2027年国際園芸博覧会協会

2026年度 借入限度額(案)

(1) 借入限度額

経理規程第31条第2項に基づき、当年度の借入限度額は14,200,000千円とする。

2. 個別事業の内容について

(1) 公益目的事業について

(事業単位ごとに作成してください)

い.)

事業番号	事業の内容	当該事業の事業比率 (%)
公 1	2027年国際園芸博覧会の準備及び開催運営に関する事業	51.2

〔1〕事業の概要について (注1)

1 趣旨 (博覧会の開催目的)

2027年国際園芸博覧会は、気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしに生かす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ、農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的とした未来志向の博覧会を目指すものである。

2 全体概要

- ・ 名称 : 2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
- ・ 開催場所 : 旧上瀬谷通信施設 (神奈川県横浜市)
- ・ 開催期間 : 2027年3月19日 (金) ~ 9月26日 (日)
- ・ 博覧会区域 : 約100ha
- ・ 参加者数 : 1,500万人 (地域連携やICT活用などの多様な参加形態を含む)
(有料来場者数 1,000万人以上)

3 資金計画 (財源・委託等)

- (1) 会場建設費 : 320億円
- ・ 財源 : 国、地方自治体、民間による負担 (1 : 1 : 1の負担割合を令和3年6月22日に閣議了解済)
- ・ 支出 (委託等) : 出展関係建設費、サービス・管理施設整備費、庭園・花壇・緑地の整備費等
- (2) 運営費 : 360億円
- ・ 収入 : 入場料収入、物販収入等
- ・ 支出 (委託等) : 事業運営、会場管理、来場者対応、広告宣伝費、庭園・花壇・緑地の維持管理費等

4 事業構成

本博覧会では、圧倒的な植物の美しさや不思議さを体感することができる庭園や植栽、自然と調和した建築等をベースとしつつ、自然資本を活用することによる新たな技術や価値を、多様な主体が参集し連携することにより創出する「新たにチャレンジする事業」を付加することにより、魅力的な風景・景観を上瀬谷の大地に作り上げる。

「風景・景観を創る事業」は、主催者庭園・植栽、主催者以外が出展する庭園、生産品コンペ、展示建築施設や企業出展等により会場を創り上げていく。

「新たにチャレンジする事業」は、シンボル展示、協会テーマ事業「Village (ビレッジ)」や食体験事業等により構成する。



2. 個別の事業の内容について

(1) 公益目的事業について

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	公 1
------	-----

[2]事業の公益性について

定款(法人の事業又は目的)上の根拠	第3条
事業の種類 (別表の号)	(本事業が、左欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由を記載してください。)
17	本博覧会の会場となる旧上瀬谷通信施設は、首都圏に残された広大な敷地であるが、米軍の通信基地として開発が抑制されてきたため、農業振興と都市的土地利用による郊外部の新たな活性化拠点形成の推進を目的として、国際園芸博覧会の招致を進めてきた。持続可能な都市開発のモデルを国内外に発信することで、国際社会に貢献することができ、「国土の利用、整備又は保全を目的とする事業」に該当すると考える。
16	本博覧会は、世界で開催されている国際園芸博覧会の潮流を踏まえつつ、COVID-19を経験し変化した現在の社会状況においても積極的な賛同を得られるよう、地球環境問題や、さらに食料問題をはじめとするSDGsの達成といった世界共通の課題、我が国における社会課題の解決と政策推進への貢献等に取り組むこととしており、「地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業」に該当すると考える。
02	本博覧会は、AIPH規則に定められた国際園芸博覧会の目的と役割である「園芸業の商品を一般市民、企業および各国政府に販売促進し、かつ、個人や社会にとっての利益という意味において、園芸に関する国際的な理解を高めること」に鑑み、1990年大阪花の万博をはじめとした過去の国際園芸博覧会のレガシーを継承し、園芸文化の振興と、自然と人間との共生の理念を発展させることを目的として開催することとしており、「文化及び芸術の振興を目的とする事業」に該当すると考える。

(本事業が不特定多数の者の利益の増進に寄与すると言える事実を記載してください(注1)。)		
(下欄事業区分欄から、法人の事業に該当の区分を選択してください。事業区分ごとのチェックポイントがその横に表示されます。該当する事業区分がないと考える場合には、最後の(18)「上記事業区分に該当しない場合」を選択してください。)		チェックポイントに該当する旨の説明
事業区分	区分ごとのチェックポイント	<p>(左欄に表示されたチェックポイントに対して、できるだけ対応するように、どのように事業を行うのかがわかるように記載してください。)</p> <p>その他説明事項</p>
(9) 展示会、 〇〇 ショー	<p>1.当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。</p> <p>2.公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例:テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催/出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている/テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか(注)/入場者を特定の利害関係者に限っていないか)</p> <p>(注)公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。</p> <p>3.(出展者を選定する場合、)出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例:出展料に不当な差別がないか)</p>	<p>1.「2027年国際園芸博覧会協会 設立趣意(2021年11月議決)」では、不特定多数の者の利益増進に寄与することを主たる目的として位置付け、協会HPで公表している。</p> <p>【設立趣意(抜粋)】</p> <p>国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催されるものです。</p> <p>(中略)</p> <p>気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的としています。</p>

		<p>2. 本博覧会では、以下の「ア 展示」、「イ 行催事」について、公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムを検討している。</p> <p>テーマに沿った行催事を開催するとともに、出展者にはテーマに沿った展示を厳守させ、業界団体の販売促進や共同宣伝にはしない。</p> <p>また、入場者を特定の利害関係者に限っておらず、全員が入場可能である。</p> <p>ア 展示(庭園、展示) 庭園は、本博覧会を象徴となる主催者庭園や公式参加者(国、国際機関)、非公式参加者(自治体、市民団体等)の出展で構成。 展示は、主催者展示、公式・非公式参加者による花きなど多様な出展で構成。</p> <p>イ 行催事(コンペティション、公式行催事) 花き・園芸製品のコンペティションに加え、本博覧会のテーマに沿った独自企画も検討。 公式行催事では、開会式と閉会式や、参加国、国際機関によるナショナルデー等の式典などを実施。</p> <p>3. 本博覧会への出展資格は、国際園芸家協会(AIPH)の規則等に基づき、上記のとおり、公式参加者と非公式参加者である。出展資格案は、『2027年国際園芸博覧会 基本計画案(第3章 参加計画)』等をHPで公表している。</p>	

[3]本事業を反復継続して行うのに最低限必要となる許認可等について(注2)

許認可等の名称	根拠法令	許認可等行政機関

注1 「公益認定等に関する運用について(公益認定等ガイドライン)」における「【参考】公益目的事業のチェックポイントについて」を参考に記載してください。

注2 記載した許認可等を得ている場合には、許認可等の写しを、現在申請中の場合には、当該許認可等の申請書を添付してください。また、「許認可等行政機関」は課名等まで記載してください。

報告事項 第1号報告

GREEN × EXPO 2027の進捗状況

GREEN×EXPO 2027の進捗状況について、別紙のとおり報告します。

【資料】

- ・別紙 GREEN × EXPO 2027の進捗状況

別紙

GREEN × EXPO 2027の進捗状況

GREEN × EXPO 協会
2026年3月26日



1. 展示・出展等

- ・主催者展示（テーマ館・園芸文化展示）、政府出展（日本政府苑）
- ・Village出展、テーマ営業出店、花・緑出展、横浜市出展、神奈川県出展、国際出展、国際出展支援の取組、一般営業出店
- ・行催事
- ・協賛
- ・植物調達、植物維持管理
- ・大阪・関西万博との連携 “樹木輸送” プロジェクト「緑配便」

2. 運営

- ・来場者サービス・運営管理
- ・ICT基盤・サイバーセキュリティ環境整備
- ・場内インシデント対応体制
- ・持続可能性・インクルーシブ

3 広報・機運醸成

- ・入場チケット、販売開始時のプロモーション施策
- ・GREEN×EXPO 2027 開催1年前記者発表会
- ・ブランドコピー、シティドレッシング、オフィシャルストアの展開、メディアブリーフィングの実施、デジタル施策（SNS）、YouTube配信『GREEN×EXPO DIRECT』、協会ホームページリニューアル、イベント出展
- ・関係機関等との連携（大阪・関西万博他）、GREEN×EXPO 2027通信
- ・機運醸成の取組（横浜市・神奈川県・国土交通省・農林水産省）

4 工事・輸送・体制等

- ・協会の工事全体のスケジュール
- ・輸送対策
- ・儀典
- ・ボランティア
- ・GREEN×EXPO協会 体制
- ・全体スケジュール

1. 展示・出展等



花・緑出展

花と緑のプロフェッショナルが、庭園や花壇、生け花や盆栽、新品種・希少種など、多種多様な花・緑の作品を出展。

Village 出展

カーボンニュートラルやネイチャーポジティブなど、新たなグリーン社会実現に向けた企業による大規模な出展。独創的な展示や体験コンテンツの展開していただく。

- | | |
|----------------|--------------|
| A. 東急グループ | G. 大和ハウスグループ |
| B. KTグループ | H. 東邦レオ 株式会社 |
| C. NTT東日本 株式会社 | I. 竹中グループ |
| D. 株式会社 大林組 | J. 住友林業 株式会社 |
| E. 三菱グループ | K. 相鉄グループ |
| F. 鹿島建設 株式会社 | L. 清水建設 株式会社 |

テーマ営業出店

テーマに合わせた展示とともに飲食等の提供を実施いただく出店形態。

- | | |
|------------|---------------|
| M. JAグループ | O. 明治グループ |
| N. 株式会社 丸兆 | P. ヤマザキパングループ |



主催者展示（テーマ館）

「全ての生命はつながっている。植物を中心に」をテーマに、植物たちの知られざる能力と、生命同士の複雑で巧妙なつながりを「映像技術&研究結果」×「アート&エンターテインメント」の掛け算により、感動とともに届けていく。

○展示物制作

- ・ 展示映像の取材及び編集、複数社と協賛契約手続きを実施中。
- ・ 有識者による展示のデザイン調整、学術監修を実施中。

○運営計画

- ・ 展示制作及び会場全体の運営計画に合わせて、運営の詳細を検討中。

○広報活動

- ・ 3月19日に公式ウェブサイト開設。



（テーマ館俯瞰イメージ）



（展示イメージ）



主催者展示（園芸文化展示）

日本の伝統園芸の多層的な魅力を体感的に紹介し、接ぎ木や変化朝顔に代表される育種技術、伝統園芸植物の美意識、地域との結びつきなどを、映像・ミニチュア・実物展示を通じて総合的に表現します。

○展示物制作

- ・ 展示映像制作について絵コンテを作成し、映像取材を実施予定。
- ・ 展示物について試作品製作や、展示協力団体との調整を実施中。
- ・ 江戸時代の植木屋を再現する「花屋敷」の演出について具体案を検討中。

○運営計画

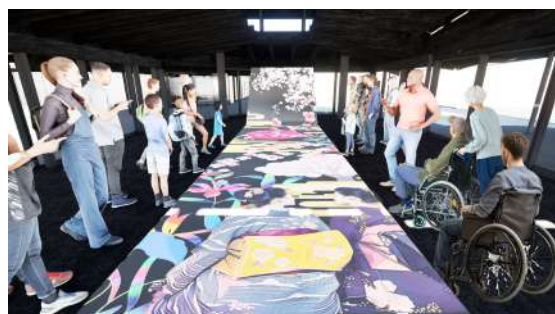
- ・ 展示制作及び会場全体の運営計画に合わせて、運営の詳細を検討中。

○広報活動

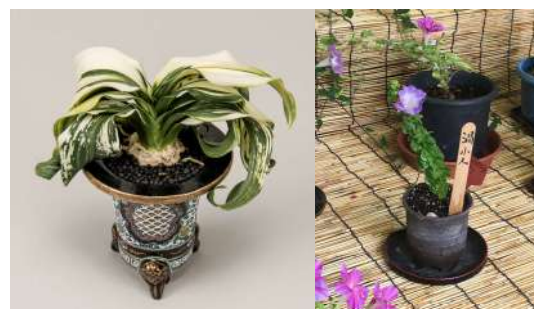
- ・ 公式ウェブサイトを制作中。



（園芸文化館俯瞰イメージ）



（映像展示イメージ）



（様々な伝統園芸植物）



政府出展（日本政府苑）



「日本の自然観を再考し、未来へ進む」というコンセプトの下、伝統的な庭園技術や、いけばな、盆栽などの園芸文化に加え、新しい農業技術やみどりの食料システム戦略、グリーンインフラ等に関する展示を、屋内・屋外で一体的に実施。

○展示物制作

- ・ 屋外展示工事（造園）を施工中。
- ・ 展示施設の建築工事、機械設備工事、電気設備工事を施工中（国土交通省関東地方整備局）。
- ・ 屋内展示について実施設計中（農林水産省）。

○運営計画

- ・ 展示制作及び会場全体の運営計画に合わせて、運営の詳細を検討中。

○広報活動

- ・ 3月19日に公式ウェブサイト開設。



日本政府苑鳥瞰図（イメージ）



屋外展示（イメージ）



展示施設（建築）（イメージ）



屋内展示（イメージ）

※イメージは国土交通省・農林水産省提供

Village出展

東急グループ とうきゅうグループ館



『GREEN LIFESTYLE 2050』をテーマに、自然と都市が融合する新しいライフスタイルの提案と、皆さんとともに未来を創る共創体験を提供します。

NTT東日本株式会社 NTT EAST館



NTT東日本は「産業・自然・文化」が調和し、幸せがめぐる“Well-beingな社会”を体験型で表現いたします。

K Tグループ Mobi+ (モビタス)



必要な時に必要な場所へ「くるまたち」が「エネルギー」を運び、皆さまを笑顔にします。

株式会社大林組 大林組モリソラミライ



大林グループが目指す「地球・社会・人」の調和した世界観を是非ご体感ください。

Village出展

三菱グループ 三菱みんなの未来館



幸せな明日に向けて、「自然と人、社会との共生」の重要性を楽しみながら再確認して、みんなで取り組むきっかけに繋がるような展示を目指します。

大和ハウスグループ 大和ハウスグループ エンドレスハートパーク



We Build Future Living 原点から未来へ。
風・太陽・水と緑が織りなす万華鏡のような重なりと変化が表す未来の景色を、ぜひご体感ください。

鹿島建設株式会社 KAJIMA TREE



KAJIMA TREE それは自然と人の明日の物語。大阪・関西万博の大屋根リングの木材が、先端技術により新たな命を吹き込まれ、GREEN×EXPOのシンボルとして生まれ変わります。 ※鹿島は大阪・関西万博の大屋根リングの木材の譲渡先です。

東邦レオ株式会社 やさしくなりたい。STUDIO



「やさしくなりたい。STUDIO」始動。大阪・関西万博「ノモの国」をリユースし、「やさしさ。」を始めます。

Village出展



竹中グループ くるくるく



リジェネラティブでウェルビーイングな未来へ
めぐるいのち・めぐるかたちをテーマに素材を通じたいのちの循環をお楽しみください。

住友林業株式会社 住友林業館「100（ひゃく）の森」



1691年の創業以来、森や木、植物と歩んできた住友林業ならではの展示・体験を提供します。

相鉄グループ SOTETSU PARK



子どもたちが自然と親しみ、遊びながら学べるエリア「SOTETSU PARK」は、“未来”の象徴となる鉄道車両を中心にして街と人と生きものが共生する未来を表現します。

清水建設株式会社 シミズ 森のまち



『シミズ 森のまち』は、「見て、触れて、つくる」を通じ、みんなで地球環境について学び合う、子どもたちが主役の体験の場です。

テーマ営業出店



JAグループ



国産の農産物の魅力や、日本の食と農について触れていただける時間を提供します。

株式会社丸兆 HONEY HARMONY GARDEN



小さな命のつながりを体感し、自然と食の未来を考えるきっかけを届けます。

明治グループ ORAGA VILLAGE 未来のふるさと



未来のふるさとが、ここにある。
自然の恵みを楽しんで成り立つ明治グループの取組の原点、里山を見に来てみませんか？

ヤマザキパングループ ヤマザキ「明日の明るい食卓」館



毎日の食卓に対する安心と、明日やその先の未来の食卓に対する期待を、展示や体験を通じて感じてください。

花・緑出展

○花・緑出展者の10者から屋外、屋内の出展内容を「第4回花と緑の共創推進会議(2026年2月19日開催)」にて、公開しました。

(仮称) 石勝エクステリア (東急不動産グループ)

屋外
出展



©2026 ISHIKATSU EXTERIOR INC.

みどりと共に-2127-。景観10年・風景100年・風土1000年を礎に、造園技術とネイチャーベースドソリューション (NbS) による暑熱対策を行います。資源・雨水循環を取入れ、来場者に寛いでもらえる自然と共生した憩いの空間を提供します。

株式会社 サカタのタネ

屋外
出展

屋内
出展



提供元：株式会社 サカタのタネ

1913年に横浜で創業した(株)サカタのタネは、植物の始まりといえるタネの不思議や面白さ、タネから育てる植物の魅力をお伝えします。新品種の展示などを通じて未来を提案するとともに、植物と人を繋ぐアイデアも提供します。

一般社団法人 日本造園組合連合会

屋外
出展



提供元：一般社団法人 日本造園組合連合会

日本造園組合連合会に加入している全国の熟練技能者の技を結集させて作庭します。メインとなる石橋アーチ橋の前方に、棚田や東屋など人々の暮らしの風景をつくり、アーチの先には、希望のある未来を感じ取れるような空間を表現したいと思います。

株式会社 ハイポネックスジャパン

屋外
出展

屋内
出展



提供元：株式会社 ハイポネックスジャパン

植物の健全な生育には「根張り」が重要です。根張りの促進や花・野菜の生育を力強く支えるために肥料は欠かせない存在です。本出展では普段は目にする事のない土の中の世界に焦点を当て、植物の生育の基盤となる「根づくチカラ」を分かりやすく紹介します。

公益財団法人 日本いけばな芸術協会

屋内
出展



提供元：公益財団法人 日本いけばな芸術協会

諸流合同で多様ないけばな作品を展示する他、「いけばな文化史年表」や花型に関するパネルを展示いたします。「いけばな」を通じて、自然の持つ美しさや個性、会場にあふれる花の力、作家の想いをこめたいけばな芸術の神髄をこころゆくまでご覧ください。

花・緑出展

○花・緑出展者の10者から屋外、屋内の出展内容を「第4回花と緑の共創推進会議(2026年2月19日開催)」にて、公開しました。

茨城県

屋外
出展



「いばらきの奥深き庭を愉しむ」をコンセプトに、茨城県を代表する庭園である偕楽園の陰と陽の創建思想の世界観を盛り込むとともに、ひたち海浜公園、フラワーパークなどの花絶景を表現し、いばらきの歴史・文化や季節ごとの魅力を盛り込んだ展示です。

岐阜県

屋内
出展



岐阜県

飛騨の合掌造りをモチーフとした茶室空間に配置する、花苗を敷き詰めた花畳や床の花飾り、茶庭、水の流りが自然豊かな岐阜を表現します。県産花きによる花飾りや美濃和紙を用いて、岐阜の花産業・伝統文化が香る空間を造ります。

奈良県

屋外
出展



©NARA pref.

本県マスコットキャラクターせんとかんを設置します。シルバーのせんとかんに映る自身を撮影するなど、ユニークな体験ができます。万葉植物とナラノヤエザクラ、万葉集に詠まれた朝霧をテーマとした演出等、奈良を感じられる場とします。是非、お越しください。

浜松市

屋外
出展



浜松市

浜松市は、山や海、川、湖といった自然環境に恵まれ、生物相や植物相も豊かな都市です。加えて、多様な人々と文化、産業が発達した都市でもあります。浜松市が有する自然や文化、産業の多様性を、多様な生き物が共存する美しいガーデンで表現します。

神戸市

屋外
出展



神戸市

近年の夏場を中心とする高温常態化への神戸市の取り組みや、森林・里山の再生とまちの緑化を柱とする「森の未来都市 神戸」の取り組みを発信します。また、伐採した街路樹の活用など、資源循環の取り組みもPRします。

花・緑出展

○花・緑出展者の屋外 8 者の出展内容を「開催 1 年前記者発表会（2026年3月19日開催）」にて、公開しました。

株式会社 タカショー

屋外
出展



©Takasho

グループの総力を結集した五感で体感する植物空間を構築し、庭が核となる幸せな未来と健康な暮らしを提唱します。

ベルグアース株式会社

屋外
出展



ベルグアース 園

「いただきます」のその前に、多くの人の手や自然の力、大地の恵み、虫や動物たちが互いに支え合い、つながっている世界があることを伝える展示です。

沖縄美ら海水族館
(一般財団法人 沖縄美ら島財団)

屋外
出展



沖縄美ら海水族館 (一般財団法人 沖縄美ら島財団)

花と緑でジンベエザメやイルカなど海の生き物をいきいきと表現、ダイナミックに色鮮やかな造形が並びます。

住友林業緑化株式会社

屋外
出展



住友林業緑化株式会社

美しく先進的な街“横浜”から「未来への出航」をテーマに、新しい庭のスタイルを世界に向け発信します。

青森県

屋外
出展



青森県

八戸工業大学の学生のご協力をえて、「150年の実り、未来への根ざし」と題し、りんごをモチーフに、農と暮らしの共存による風景・文化を表現しました。

千葉県

屋外
出展



屋外出展イメージ 千葉県

千葉大学園芸学部と連携し、県の木「マキ」を中心に房総半島の地形的特性や会場の南西風を活かした空間を展開します。

大分県

屋外
出展



大分県提供

自然豊かで伝統文化・美食にあふれるおんせん県おいたが世界を旅するメディカルハーブマンと一緒に世界中の人々を癒します！

静岡市

屋外
出展



©2026 Shizuoka City

次代を担う学生たちとデザインしました。静岡市の自然、文化、産業、次世代の創造力を発信します！

横浜市出展 ～世界の明日を、みんなでひらく。

【建物空間を活用した発信拠点】

未来に向けて挑戦する市民・企業の皆様とともに、「行動変容体験ゾーン」「先進技術体験ゾーン」の2つを通じて、横浜が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。

①建物空間を活用した発信拠点

敷地面積：約3,000㎡



②フィールドを活用した活動拠点

敷地面積：約10,000㎡

【フィールドを活用した発信拠点】

横浜産植物を活用した美しい花壇、公園愛護会など環境活動に取り組む皆様とのフィールドづくり、ツアーガイド、ワークショップなど、誰もが楽しめる活動の場を提供します。



神奈川県出展

バイブラント いのち

神奈川県は、「“Vibrant INOCHI”一人ひとりの“いのちが輝く”」をメインテーマに掲げ、出展の準備を進めています。

【屋外庭園】

- ・ 神奈川県の地形を模した庭園に、約1,600本の樹木と約8万株の花苗を植え替え、季節感のある展示を行います。
- ・ 大阪・関西万博のシンボルであった「大屋根リング」に使用された木材を花壇やデッキで再活用します。

【屋内展示】

- ・ 屋内展示では、出展のサブテーマである「共生社会の実現」「持続可能な社会づくり」「未病（ME-BYO）の改善」をわかりやすく発信します。

【催事】

- ・ 県出展エリアを盛り上げる、多様な主体による魅力あふれる催事を、会期中毎日実施します。

国際出展（公式参加者）



★契約調印済国・機関
(2026年3月12日時点)



57か国・4国際機関の参加が公表済（2026年3月19日時点）
3月19日時点で、参加表明国・国際機関数は目標の70程度を上回る見通し

国際出展

万博を所管するBIE(博覧会国際事務局)や、園芸博覧会を所管するAIPH（国際園芸家協会）と進捗状況を共有しながら当博覧会の準備を実施。また、出展国・機関との契約調印・出展準備が進捗。



米国



パラオ



国際熱帯木材機関 (ITTO)



AIPH（国際園芸家協会）
開催1年前査察

国際出展支援の取組

- 出展国・機関が日本で出展に必要な事業者を探すための**サプライヤーリスト**の作成
- 出展国・機関と日本の**サプライヤーのマッチング会**の実施
- 出展国・機関実務担当者の訪日時の博覧会会場視察・技術的な意見交換の実施
- 設計・工事にかかる手続き、留意事項や日本の建築法令にかかる**ガイダンス (Official Participants Seminar)**の定期的な実施



サプライヤーマッチング会
(東京都内)



出展国・機関に対する
オンライン説明会



出展国実務担当者の視察

一般営業出店

○会場内において、レストラン・カフェ等の飲食やお土産・物販を提供する出店者の内定者を決定し、後日公表いたします。

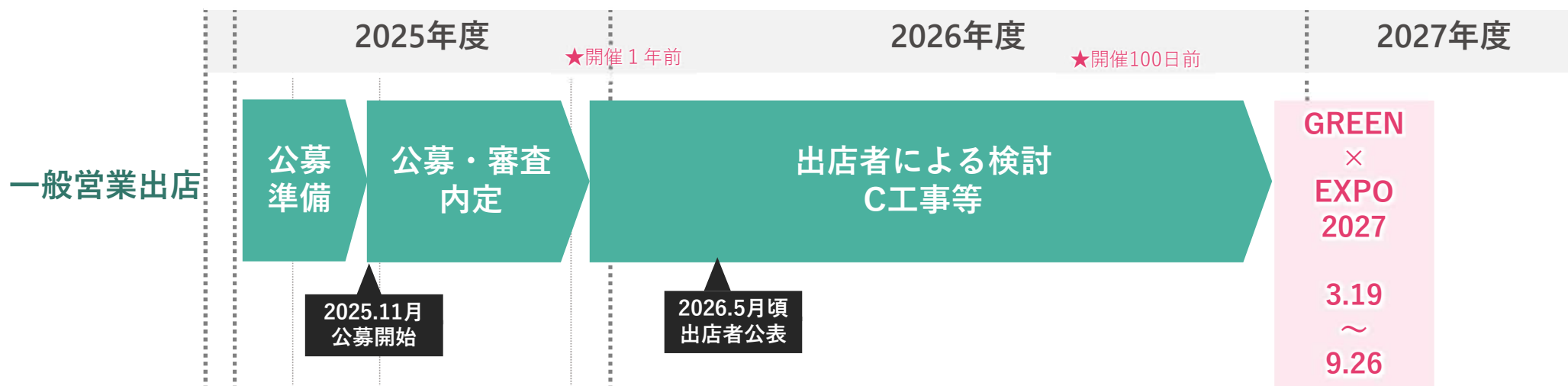
店舗数 約50店舗（レストラン、カフェ、物販店舗 等）

公募期間 2025年11月4日（火）
～2025年12月25日（木）

出店者公表時期 2026年5月中旬以降



※本イラストはイメージ図であり、現況とは異なる場合があります



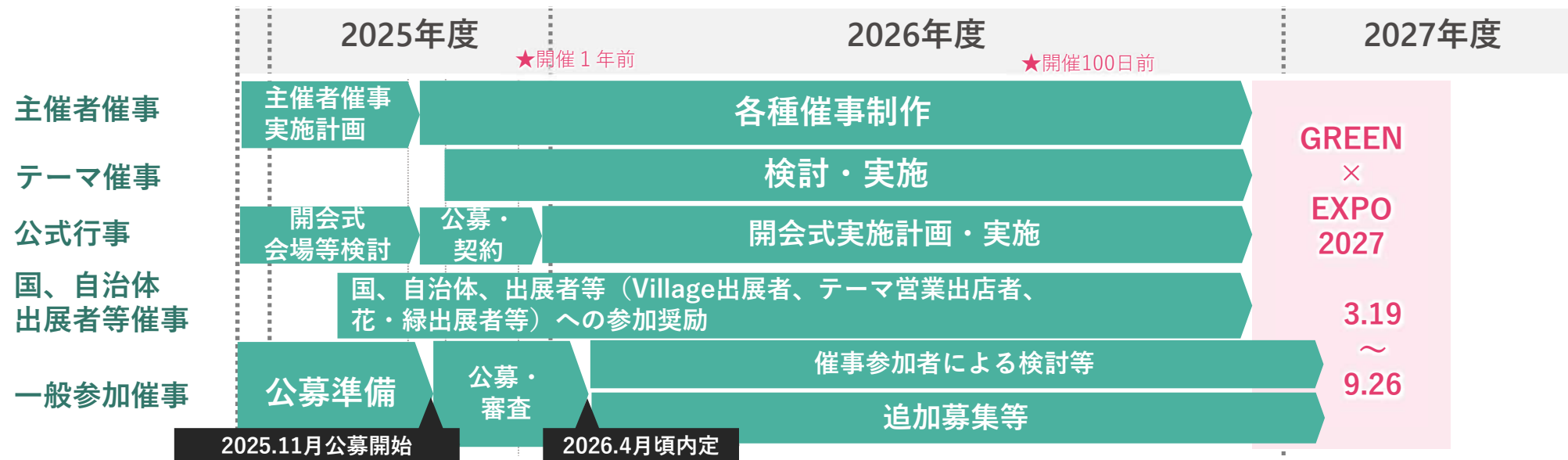
行催事



- 主催者催事は、実施計画を検討しており、その後各種催事制作を行う予定です。
- 食や農、新産業創出などのテーマ催事について、催事・施設運営等の方向性の検討を行いました。
- 公式行事は、開会式実施に向け、委託契約を行いました。
- 国・自治体・出展者等に対しては、参加勧奨を行っています。
- 一般参加催事の公募し、2026年4月頃内定する予定です。



※イメージ写真であり、現況とは異なる場合があります



協賛

○「開催1年前記者発表会（2026年3月19日開催）」にて、協賛者による協賛イメージを一部公開しました。



魅力創出プロジェクト
大成建設グループ
ダイヤモンドパートナー



にぎわい創出プロジェクト
明治安田生命保険相互会社
プラチナパートナー

○「開催1年前記者発表会（2026年3月19日開催）」にて、協賛者を公表しました

テーマ館プロジェクト

協賛者：日本生命保険相互会社 プラチナパートナー

にぎわい創出プロジェクト

協賛者：株式会社ピエレックス プラチナパートナー

にぎわい創出プロジェクト

協賛者：サントリーホールディングス株式会社 ゴールドパートナー



○ 現在、以下の項目の協賛者を継続募集中

プロジェクト協賛：テーマ館、会場整備、機運醸成、暑熱対策、園芸文化、にぎわい創出、アクセシビリティ、屋外展示、
屋外屋内出展、共創コンペティション

一般協賛：機械・機器、システム・ソフトウェア、移動・運搬、建設・施設・設備、什器・家具、イベント・展示、
植物・園芸、消耗品・雑貨

植物調達

○植物調達パートナー

協会が行う植物材料調達において、植物提案・調達・育成・納品等について、一定の基準を満たすと協会が認定した事業者です。現在3者を認定しています。

【植物調達パートナーによる調達状況】

必要となる植物について、2025年度までに植物調達パートナーとの育成契約を締結しており、2026年度からは会場内への搬入と植付を行う。

◇育成契約の状況

- ・2023年度（樹木等156品目）
- ・2024年度（樹木等103品目、宿根草等740品目）
- ・2025年度（球根等311品目、一二年草等2,486品目）

【植物調達パートナーが育成中の希少な植物の例】



サルナシ

- ・愛知県にて育成中
- ・マタタビ科の落葉つる性木本。梨に似た果実は栄養価が高く、猿が好んで食べたことが名前の由来といわれる。



北山台杉(キタヤマダイスキ)

- ・京都府にて育成中
- ・茶室や数寄屋建築用の「垂木丸太」の生産を目的として、室町時代中期に京都・北山地域で生まれた伝統的な樹形の仕立て

植物維持管理に関するルール

○植栽に使用する植物

- ・ 日本国内の法令に基づき規制のある植物や特定外来生物（植物）及び、国内未定着の侵略的外来種（植物）は会場内の植栽に使用しないこととしている。
- ・ 絶滅危惧種（国際自然保護連合IUCNが作成したレッドリストにおいて「CR：深刻な危機、EN：危機、VU：危急」に該当する植物）も原則として使用しないこととしている。

○植物残さの処理

- ・ 維持管理作業（花苗の植替えを含む）や撤去作業で発生する植物残さは、リユースや堆肥化などを優先することとしている。

大阪・関西万博との連携 “樹木輸送”プロジェクト「緑配便®」



- 大阪・関西万博の会場内の樹木をGREEN×EXPO 2027の会場に向けて、環境配慮型の樹木配送サービス「緑配便®」により、共創パートナーと連携し、鉄道輸送を実施。
- 輸送した樹木は、「モーダルシフトによる脱炭素化」の取組の実証例としてGREEN×EXPO 2027の会場に植栽。

開催 2026年3月4日（水）～6日（金）

- 趣旨
- ・ 大阪・関西万博からGREEN×EXPO 2027へのレガシーの継承
 - ・ 環境と共に生きる持続可能な社会のあり方の実証例の発信

緑配便の概要

常緑高木（南九州エリア産が多い。首都圏などの街づくりに利用）の物流は、トラックドライバーの人材不足・高齢化や、CO2排出量の削減といった課題に直面
こうした課題に答えるべく、「緑配便®」では、樹木を鉄道で輸送

共創パートナーの役割

■住友林業株式会社

独自開発した樹木輸送コンテナ「Mirai Green Cargo」で大阪・関西万博の樹木を積み込み、貨物列車を利用して輸送。

■日本通運株式会社

空コンテナの回送、鉄道コンテナ集配、鉄道コンテナ輸送の業務を実施。

■日本貨物鉄道株式会社（JR貨物）

安治川口駅からGREEN×EXPO 2027会場に向け、貨物鉄道で樹木を輸送。
記念のヘッドマークを作成。



出発の様子（3月5日 JR安治川口駅）



記念ヘッドマーク

2. 運営



○来場者サービス

案内所、アクセシビリティセンター、迷子&ベビーセンター、忘れ物センター等を設置し、全ての来場者の利便性や快適性の向上、安心・安全を追求し、満足度の高いサービスを提供します。

○会場内清掃・廃棄物管理

トイレ、ベンチ、園路等の公共の場所について定期的に清掃等を行い、来場者に清潔で快適な環境を提供します。また、会場内で発生したごみを適切に分別し、リサイクルを促進するとともに、分別誘導員を配置したりリサイクルステーションを設置し、正しく分別することが持続可能な社会の実現に繋がることを啓発します。

○公式参加者の展示物品搬入に関する会場内保税展示場手続き

公式参加者が関税等を課されることなく外国から展示物品を持ち込むことができるよう、会場全体を保税展示場として運営します。

【2026年3月より運営開始】

○会場内輸送サービス

会場内モビリティ営業参加者の公募を実施し、内定2者を公表しました。

公募期間 2025年11月4日（火）～2025年12月25日（木）

公表時期 2026年3月19日

事業者名 泉陽興業株式会社（ロードトレイン）、株式会社マクニカ（電動自動運転バス）



泉陽興業株式会社（ロードトレイン）



株式会社マクニカ（電動自動運転バス）

※上記画像は両社のHP掲載の車両であり、実際に運行する車両とは異なります

○暑熱対策

大阪・関西万博も参考にしながら、以下に記載の方向性で進めます。プロジェクト協賛による共創パートナーを募るとともに、大学等から技術的助言をいただき、具体化していきます。

○暑さ対策の方向性

屋外対策

●日陰やミスト（休憩空間や待機列）
定期的な休憩や飲食に使用できるよう、日陰の休憩空間をつくります。また、暑い場所に居続ける必要がある待機列に、日除けやミスト設置など対策を講じます。

●給水スポットや自動販売機等
こまめな水分補給ができるよう、給水スポットや自動販売機を各所に配置するとともに、涼を感じていただけるよう、打ち水などのイベント誘致を検討します。

●夜間開園
涼しい環境で楽しんでいただけるよう、夜間開園を実施します。

●来場者への呼びかけやスタッフ対策
来場者への対策への呼びかけを行うとともに、スタッフへの対策を行います。



屋内空間の提供

会場内各所に設置の出展施設や飲食施設などにより、空調のきいた屋内空間を確保します。

○暑さ対策の具体的な取組

項目	取組内容
日陰空間の創出	
休憩空間 (樹木下、人工物)	木陰そのものの活用や、樹木と一体となった日除けの設置 シェード等による休憩空間の確保
団体用休憩空間	団体客用の日除けとなるテント上屋の設置
待機列の日除け(施設入場時)	Village出展、テーマ営業出店、政府出展、協会展示施設等で検討中
待機列の日除け(シャトルバス乗車場)	シャトルバス乗車場での既存屋根の活用やテントの設置
夜間開園の全期間実施	開催日の拡充 (192日 9:30-21:30)
ミストの設置	協会が団体休憩空間等複数個所で検討している他、出展者も検討中。
給水機等の設置	給水機、自動販売機の設置
遮熱性舗装	園路への遮熱性舗装の採用
屋内休憩空間	空調付き休憩所の設置

ICT基盤・サイバーセキュリティ環境整備



○ICT実施設計に基づく環境整備

昨今の通信サービスの高度化や運営面でのデジタル技術を活用した各種対応の実施などにより、来場者、参加者、協会運営からの大きな通信需要が見込まれます。

これに応えるべく通信環境の整備・強化を行い、博覧会の円滑な運営及び来場者への良質な通信サービスの提供に務めます。



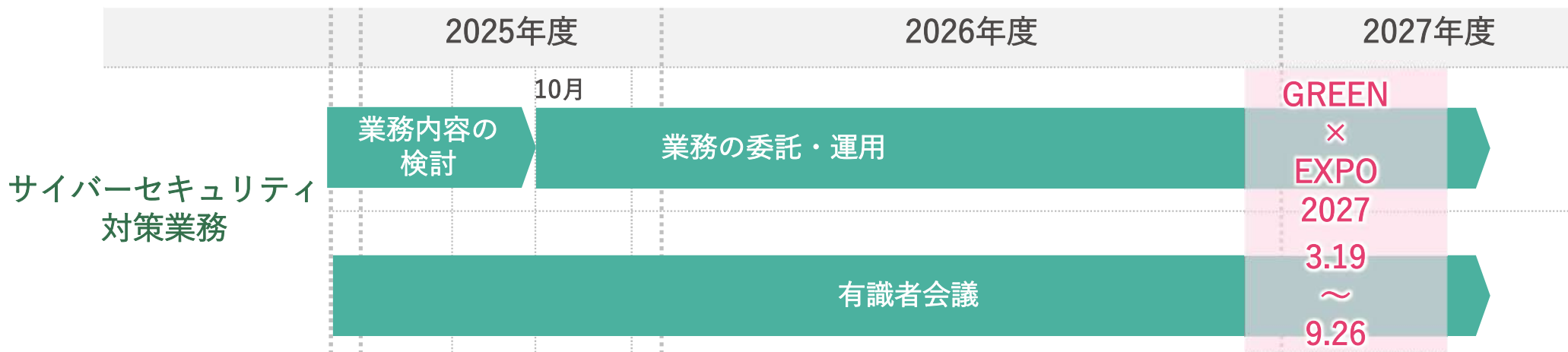
○サイバーセキュリティ対策

サイバー攻撃による被害は未だ途絶えず年々増加していて攻撃の手法も高度化・複雑化している状況です。これを防ぐため、サイバーセキュリティ対策業務委託・有識者会議等を通じて対策を行います。

<サイバーセキュリティ対策業務委託>

NECセキュリティ株式会社と業務委託契約を締結し、2025年10月より業務開始。

- ・インターネット上の対策 : webサイト改ざん対策、ウイルス侵入検知 等
- ・会場内の対策 : 通信機器ウイルス感染対策、Wi-Fi利用不正通信遮断 等
- ・有事への備え : セキュリティ教育、インシデント対応 等

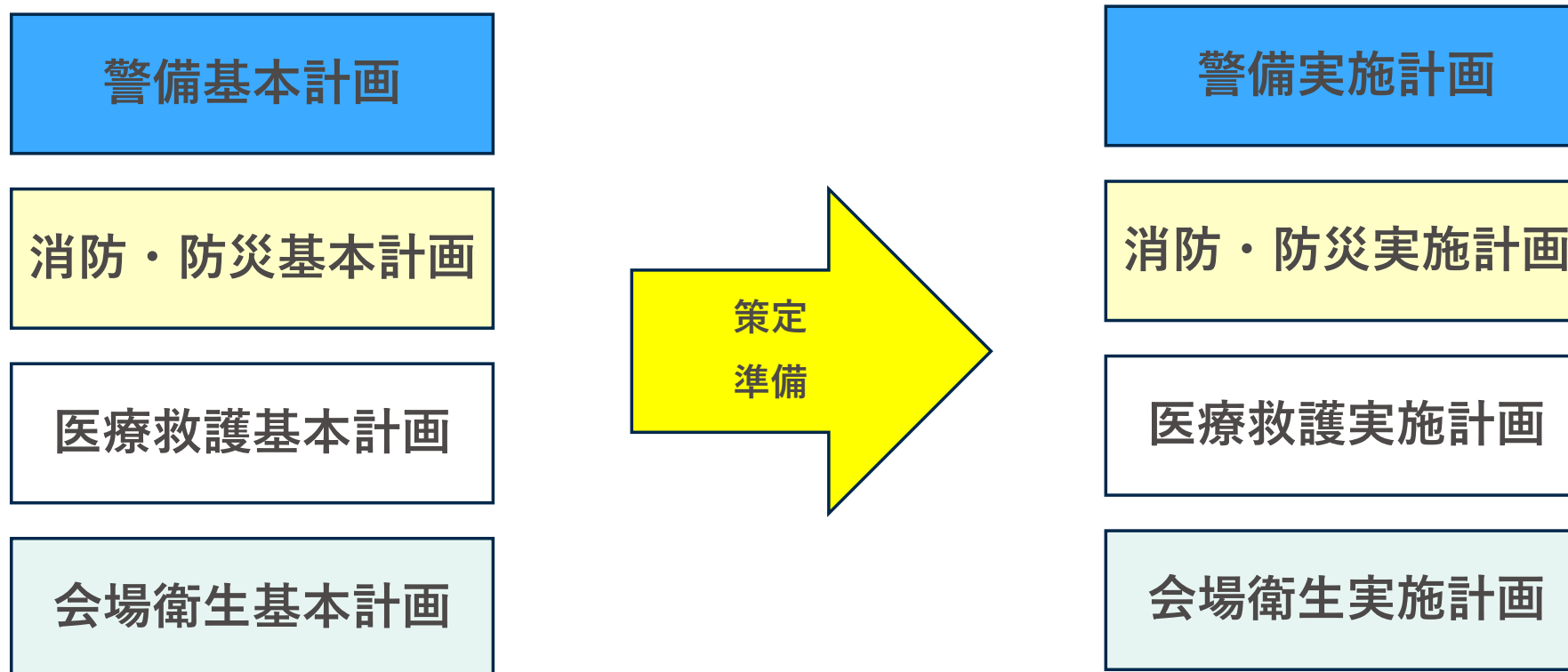


場内インシデント対応体制

○警備基本計画、消防・防災基本計画、医療救護基本計画、会場衛生基本計画の策定

各分野に知見のある専門家や関係機関が構成員となっている各協議会において評価・アドバイスをいただき

2025年9月に博覧会会場の安全対策に関する各基本計画を策定しました。



○想定されるリスクと対策

《警備》

雑踏事故防止、テロ等重大事件防止（危険物等の持ち込み禁止、不審人物等の発見）について、その対応策を検討し実施計画に定める。

《消防・防災》

20の災害等（地震、風水害等）を想定し、被害想定を基にその対応策を検討し実施計画に定める。

《医療救護》

傷病者発生時、心肺停止事案、多数傷病者事案、熱中症事案、傷病者の救急搬送、会場内での応急処置について、その対応策を検討し実施計画に定める。

《会場衛生》

食中毒、ねずみ・衛生害虫、建築物の衛生管理、感染症予防について、その対応策を検討し実施計画に定める。

○第6回持続可能性有識者委員会を開催（2026年1月13日）

各部の取組状況について報告。

プレイベント・サステナビリティレポート（案）を審議。

プレイベント・ サステナビリティレポート

意義：	博覧会のレガシーとして、知識、ベストプラクティス、ケーススタディおよび教訓を継承
目的：	博覧会開催にあたり、建設工事及び準備段階の経験を共有し、直面した課題や問題とそれらへの対処法を明確にし、成果を記録する。また、大規模イベントの管理への理解を深めるための基礎資料とする。
規則：	開会6ヶ月前の提出かつAIPHの要求事項を満たす必要がある。

【目次案】

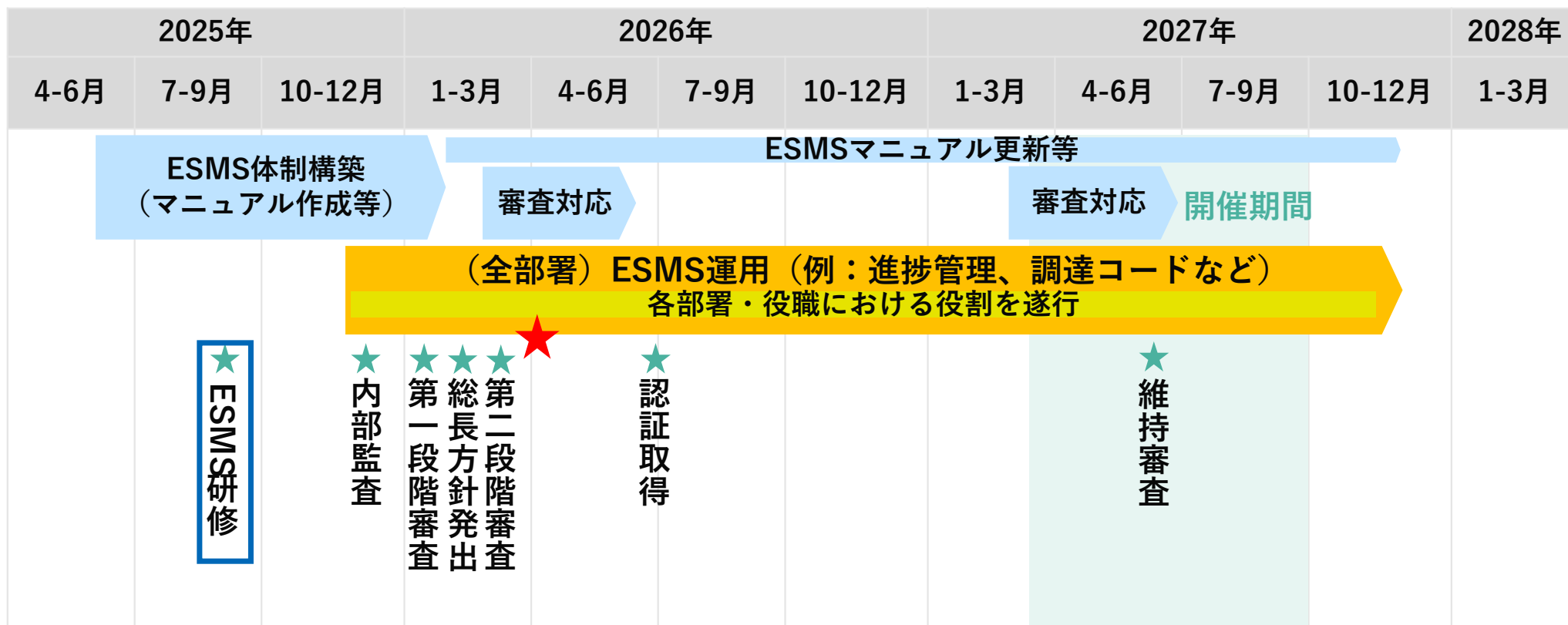
1. はじめに
2. 目標と目的
3. 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献
4. サステナビリティコミュニケーション・エンゲージメント（C&E）計画・教育計画
5. ISO20121に則した持続可能性マネジメントシステム

委員コメント例

- サステナビリティに取り組む意味について整理し、EXPOで体験できる場とすべき。
- 取組を棚卸した上で脱炭素・資源循環・自然共生の関係性を示す。シナジーの発現を目指すべき。

○ ISO20121認証取得に向けた取組

ISO 20121認証取得に向けて、2026年2月に第1段階審査（文書審査）、3月に第2段階審査（現地視察、各部室ヒアリング等）が行われた。2月20日には「持続可能なGREEN×EXPO 2027開催に向けた方針」を発出した。



持続可能性・インクルーシブ



○ 国際女性デーに合わせたイベント

「つながる、その先へ ～大阪・関西万博2025のレガシーをGREEN×EXPO 2027、そしてポスト2030へ～」を表題に、GREEN×EXPO 2027開催1年前と国際女性デーに合わせ、ポスト2030に向けて、未来の価値創造を考えるイベントを開催。

開催概要

開催日時・場所

2026年3月4日（水）17時 - 19時30分、横浜市役所1階アトリウム

プログラム

特別講演「ジェンダー平等・女性活躍を取り巻く現状と今後の展望」
第70回国連女性の地位委員会日本代表 大崎麻子氏

パネルディスカッション

「ポスト2030の世界にむけたアクション ～GREEN×EXPO 2027を機に～」

モデレーター：農林水産省大臣官房審議官 西経子氏

パネリスト：国連責任投資原則（PRI）理事／日本生命保険相互会社執行役員 木村武氏

*AtoW幹事／大林組理事 赤松真弥氏

GREEN×EXPO協会理事／持続可能性委員会委員 吉高まり氏

国土交通省都市局デジタル政策課長 川合紀子氏

主催

GREEN×EXPO協会、*AtoW、農林水産省、国土交通省

後援

横浜市、横浜商工会議所、（一社）日本経済団体連合会、（公社）経済同友会、
関西経済同友会女性リーダー塾、大阪商工会議所、（公社）関西経済連合会、他

テレビ
神奈川
で放映



持続可能性・インクルーシブ

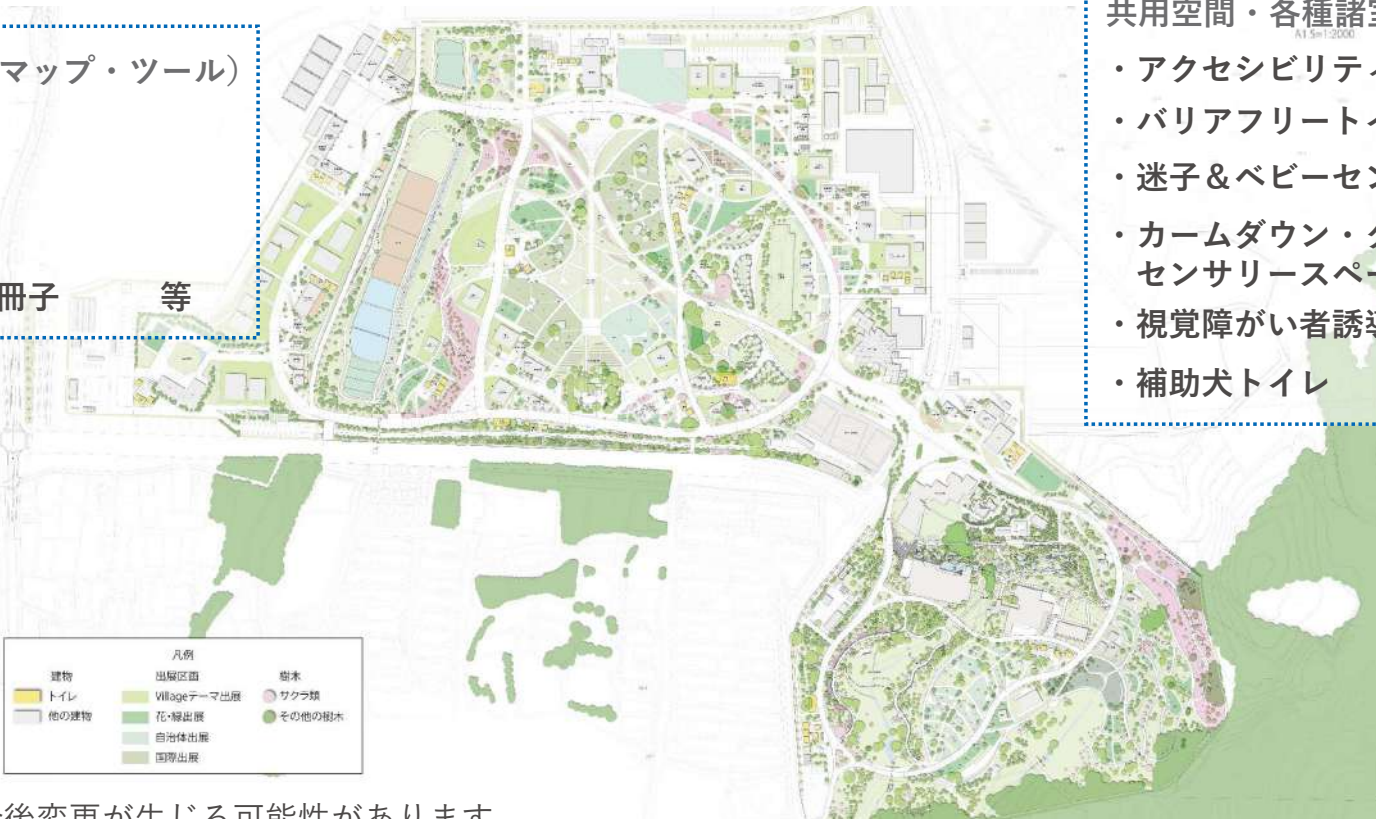
○ アクセシビリティの取組について

GREEN×EXPO会場全体の施設整備やサービス導入の検討を推進。

障がい当事者や学識経験者等の皆様に参画いただき、様々な意見を踏まえ検討。

- 情報提供の充実（各種マップ・ツール）
- ・ バリアフリーマップ
- ・ センサリーマップ
- ・ 触知図
- ・ GREEN×EXPO予習冊子 等

- ICT技術
- ・ 移動支援
- ・ 情報提供
- ・ 翻訳案内 等



- 共用空間・各種諸室の環境整備
- ・ アクセシビリティセンター
- ・ バリアフリースペース
- ・ 迷子&ベビーセンター
- ・ カームダウン・クールダウン／センサリースペース
- ・ 視覚障がい者誘導用ブロック
- ・ 補助犬トイレ 等

※現時点での検討状況であり、今後変更が生じる可能性があります。

○ アクセシビリティの取組について

■ 情報提供の充実（各種マップ・ツール） イメージ

- ・ バリアフリーマップ
- ・ センサリーマップ
- ・ 触知図
- ・ GREEN×EXPO予習冊子 等



バリアフリーマップ



センサリーマップ



触知図

■ 共用空間・各種諸室の環境整備 イメージ

- ・ アクセシビリティセンター
- ・ バリアフリートイレ
- ・ 迷子&ベビーセンター
- ・ カームダウン・クールダウン/センサリースペース
- ・ 視覚障がい者誘導用ブロック
- ・ 補助犬トイレ 等

カームダウン/クールダウンルーム

来場時に気持ちが不安になったり、パニックになってしまった時に落ち着けるスペース



アクセシビリティセンター

車いすや歩行補助器具等の貸出や、筆談や手話による対応など様々な配慮を必要とする方への総合サービス拠点

3. 広報・機運醸成



入場チケット



○券種と価格（2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議にて了承（2025年12月5日））

項目	券種	概要	料金区分			販売期間	
			大人 (満18歳以上)	中人 (満12～17歳)	小人 (満4～11歳)	2026/3/19 ～ 2027/3/18	2027/3/19 ～会期中
前売チケット	1日券（早割価格）	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円	○	
会期中販売 チケット	1日券（通常価格）	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円		○
	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円		○
前売・ 会期中販売 チケット	特別割引券	障がい者手帳をお持ちの方および同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1人1回入場可	2,800円	1,700円	800円	○	○
	通期パス	会期中いつでも何度も入場可	28,000円	16,000円	6,500円	○	○
	夏パス	夏の決まった期間（7/1～8/31）に何度も入場可	12,000円	7,000円	3,000円	○	○
	一般団体割引券	15名以上の一般団体が会期中いつでも1回同時入場可	5,200円	3,100円	1,400円	○	○
				高校生	中学生・小学生・園児		
	学校団体割引券	学校団体が会期中いつでも1回同時入場可		1,700円	900円	○	○

※開場時間は会期を通して、9:30～21:30を想定しています。

※価格は全て日本円・税込みです。

（紙チケットを購入する場合は、別途100円（税込み）をいただく予定です。）

※3歳以下の方は無料となります。

※前売チケットの販売は2027年3月18日までとなります。

○ 前売入場チケットの販売開始日

2026年3月19日（木）

販売開始時のプロモーション施策（2026年3月19日～6月頃）



○2026年3月19日よりGREEN×EXPO 2027チケットサイトや委託販売事業者による販売を開始しました。

チケットの委託販売

- ・旅行代理店等とチケット販売に係る委託販売契約を順次締結。
- ・委託販売事業者は、契約締結後、当該事業者をHP上で公表。
3月26日時点：HIS、KNT-CT、JTB、シフトプラス、全旅、東武トップツアーズ、阪急交通社、名鉄観光サービス、山梨交通（50音順）
- ・一部の事業者において、紙チケットの対面販売を実施。今後販売チャンネルを拡大。

多様なチケット形態

電子チケットに加え、紙チケットや記念チケットも展開。



紙チケット



記念チケット
(ストラップ付)

販促プロモーション（イベントキャラバン）

協会が出展するイベントや、開催自治体における機運醸成イベント等でのPR、入場券を直接販売を実施予定。

【出展イベント例】

ガーデンネックレス横浜
(2026年3月19日～6月14日)

カーボンニュートラルを考える
(2026年3月20日～21日)

横浜フラワー&ガーデンフェスティバル
(2026年5月2日～4日)



GREEN×EXPO 2027 開催1年前記者発表会（2026年3月19日）



2026年3月19日(木)に開催1年前を迎え、「GREEN×EXPO 2027 開催1年前記者発表会」を開催し、最新の準備状況をお知らせしました。

<開催概要>

- 日時：2026年3月19日(木) 9:30～11:50
- 場所：東京国際フォーラムB7ホール
- 内容：
 - ・主催者挨拶
 - ・公式アンバサダー登壇
 - ・政府関係者及び開催自治体挨拶
 - ・主催者プレゼンテーション
 - ・フォトセッション
- 露出：テレビ媒体6件、新聞媒体11件、web639件
※速報値（3月23日時点）

<主催者プレゼンテーション>

- ・国際出展の紹介 アメリカ大使館 アーロン・D・スナイプ 臨時代理大使 ご挨拶
- ・出展者事業の紹介
- ・プロジェクト協賛による展示の紹介
- ・特別協力パートナーの紹介 日本財団 尾形武寿 会長ご挨拶
- ・プロジェクト協賛の紹介
- ・フォトセッション
- ・入場チケットの前売り販売開始の案内



GREEN×EXPO 2027 開催1年前記者発表会

GREEN×EXPO 2027 開催1年前記者発表会（2026年3月19日）



GREEN×EXPOの魅力を発信していただく新たな公式アンバサダーに「ゆず」の北川悠仁さんと岩沢厚治さんが就任しました。

さらに、GREEN×EXPO 2027の開催に向けてコラボレーションソングの制作も発表されました。



筒井義信 GREEN×EXPO協会会長
による任命書受け渡し



公式アンバサダーとのフォトセッション

GREEN × EXPO 2027 開催 1 年前記者発表会 (2026年 3 月 19日)



筒井義信 GREEN × EXPO協会会長
による主催者挨拶



金子恭之 国土交通大臣兼
国際園芸博覧会担当大臣による挨拶
(ビデオメッセージ)



鈴木憲和 農林水産大臣による挨拶



井野俊郎 経済産業副大臣による挨拶



山中竹春 横浜市長による挨拶



黒岩祐治 神奈川県知事による挨拶



アメリカ大使館
アーロン・D・スナイプ 臨時代理大使
による挨拶



特別協力パートナー 日本財団
尾形武寿 会長による挨拶



合言葉は、「地球と。咲きに行こう。」

「地球を」ではなく「地球と。」

「地球を」ではなく、「地球と」人がフラットな目線で、これからの向き合っていく方を見つけられる。GREEN×EXPO 2027にはそのきっかけが花や緑を起点に存分に広がっているということを「咲きに行こう」という言葉に想いを込めました。

本博覧会は、単なる万博感や、未来の都市性を感じさせるだけではなく、その根幹に根付く本物の園芸文化、さらには地球そのものへのつながりについて惜しみなく味わうことができる内容を目指しています。それらを通じて「地球と」肩を並べて向き合っていく方法を見つけていただきたいということをこのブランドコピーで表現しています。

来場者一人一人が、「来場参加者」

本博覧会には楽しみ方、切り取り方がたくさんあります。それぞれが思い思いに「期待」を持ち寄って、楽しみどころを見つけ、持ち帰る価値を切り取っていくことができる。会場に咲き誇るのは花や緑だけではなく、来場者一人一人がそれぞれの価値観で「咲くことができる」体験の提供を目指しています。

また、「咲きに行こう」は、未来へ向かう意味での「先に行こう」にもかけた言葉の設計となっており、英語表記ではBloom of Futureと表現することとしています。

シティドレッシング（ポスター、パンフレット、動画）



GREEN×EXPO開催1年前を契機に、より一層の機運醸成を図るため、ポスター、パンフレットのデザインを刷新したほか、新たな動画を作成しました。



ポスター



市民向けパンフレット（画像左：外面 画像右：中面）



アタック動画

オフィシャルストアの展開



開催1年前にあわせて常設店舗を2店舗開設し、既存の4店舗とあわせて計6店舗となります。
また、オフィシャルポップアップストアを5店舗オープンしました。

<新規常設店舗>

- ・ ジュンク堂書店 大宮店 (3/18開設)
- ・ MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店 (3/27開設)

<新規ポップアップストア>

- ・ 高島屋 横浜店 (3/18~4/21)
- ・ そごう 横浜店 (3/18~3/31)
- ・ 大丸 東京店 (3/18~3/31)
- ・ 里山ガーデンフェスタギフトショップ店 (3/19~5/6)
- ・ あべのハルカス店 (3/18~3/24)



大丸 東京店



ジュンク堂書店 大宮店

メディアブリーフィングの実施

○広報・メディア発表関連

開催1年前を見据え、メディアの方を対象に GREEN×EXPO 2027 へのご理解を深めていただくための機会として、実施しました。当日は、概要等についてなどをご説明した他、後半に 質疑応答の時間を設け、今後の情報発信や連携を見据えた情報提供を行いました。

【実施概要】

- ・ 日時： 2026年3月10日（火） 14:00～15:15
- ・ 内容： GREEN×EXPO 2027の概要説明等
- ・ 会場： TKPガーデンシティ横浜（横浜駅東口）
- ・ 参加者数： 28名



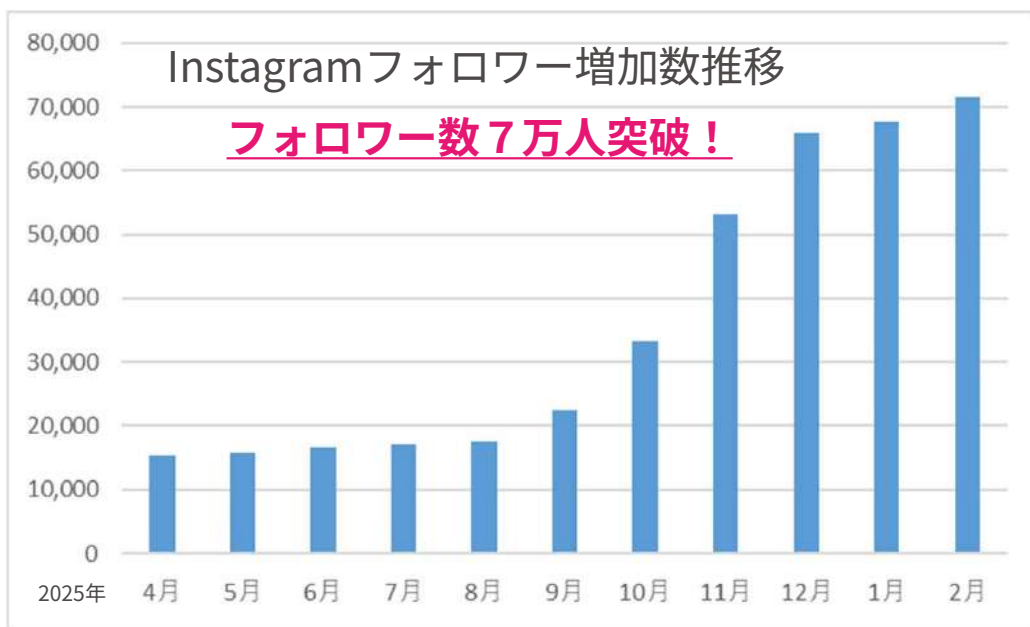
デジタル施策（SNS）

○公式SNS(Instagram, X, Facebook)による情報発信

- GREEN×EXPO 2027の準備状況や機運醸成に関する取組、出展者紹介等の内容を発信
- ユーザーの皆様から「幸せを創る明日の風景」をテーマとする写真投稿を募集しています。

※Instagramのハッシュタグ「#withGREENEXPO」は1万件以上の投稿実績あり。

○公式YouTubeチャンネル、LinkedInを開設



※数値は各月1日時点



YouTube配信『GREEN×EXPO DIRECT』



開幕まで1年に向けてそれぞれの取り組みの情報をアップデートし、定期的に一次情報を配信できる「情報展開の機会」を公式に設けます。

概要

- 配信媒体：GREEN×EXPO 2027の公式YouTubeチャンネルにて（既存アカウント）
- 配信日時：2026年3月19日（木）より、週1ペースで公開（月1収録）
- 構成イメージ
 - ①本日のGREEN×EXPO DIRECTのトピックスを紹介（最大2個）
 - ②一つ一つをナレーションベースで紹介
（映像素材・出演意向ありの場合は収録日にご来場をお願いします）
 - ③オフィシャルの最新情報をお知らせ（固定：チケット情報など）

エントリースケジュール

	PHASE1 (1年前～半年前)	PHASE2 (半年前～100日前)	PHASE3 (100日前～開会まで)	PHASE4 (開会以降)
OA時期 (不定期)	2026.3.19～	2026.9.19～	2026.12.10～	2027.3.26～
エントリーシート ×切	エントリー： 2/27（金） ※3月収録分（3月中配信分） ・このタイミングで初出ししたい情報 ・出演希望の有無 ・その他、アンケート項目を記入	5/上旬（未定） ・このタイミングで初出ししたい情報 ・出演希望の有無 ・その他、アンケート項目を記入	11/上旬（未定） ・このタイミングで初出ししたい情報 ・出演希望の有無 ・その他、アンケート項目を記入	未定

協会ホームページリニューアル



○協会ホームページを3月18日にリニューアル公開

・チケット販売開始に合わせて、スマホフレンドリーな構成に変更

ToC向けのメニュー・デザイン・コンテンツ

・「アクセシビリティ規格」への準拠 (JIS X 8341-3:2016 適合レベルA A)

PC画面

スマホ画面



- ・チケットを買いたい
- ・ボランティアに参加したい
- ・事前の関連イベントに参加したい
- ・一次情報を確認したい。



今後、このホームページはCがアクセスする「理由」が増えていく。

To B向け から To C向けに

イベント出展

○ 横浜商工会議所 令和8年会員年頭祝賀会（横浜ベイホテル東急）

・期間：1/6 バックパネル・カウントダウンボード・パンフ・チラシ配布



横浜商工会議所

○ サカタのタネフェア（パシフィコ横浜）

・期間：1/8 ブルーミングリング・パンフ・チラシ配布



令和8年会員年頭祝賀会

○ (公財)都市計画協会賀詞交歓会（ラポール麹町）

・期間：1/13 Tバナー・パンフ・チラシ配布

○ グリーンインフラ産業展（東京ビッグサイト）

・期間：1/28～1/30 トウクントウクン登壇・パネル展示・パンフ・チラシ配布



グリーンインフラ産業展

○ MINAMI Flower Days（象の鼻テラス）

・期間：1/30～2/1 トウクントウクン登場・パネル展示・チラシ配布



Shibuya SDGs STREET

○ Shbuya SDGs STREET（渋谷ストリーム）

・期間：3/2～3/4 ブルーミングリング・パネル展示・チラシ配布

○ カーボンニュートラルを考える2026（幕張メッセ）

・期間：3/20～3/21 ブルーミングリング・パネル展示・パンフレット配布

関係機関等との連携（大阪・関西万博他）



● 大阪・関西万博 メモリアルキャラバン 未来につなぐ万博展

主催：内閣官房国際博覧会推進本部事務局

共催：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会/経済産業省

協力：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会/農林水産省/国土交通省/西日本旅客鉄道株式会社

< 東京会場 >

日時：2026年2月19日(木)～2月22日(日)

< 福岡会場 >

日時：2026年2月28日(土)～3月1日(日)

< 札幌会場 >

日時：2026年3月7日(土)～3月8日(日)

< 仙台会場 >

日時：2026年3月14日(土)～3月15日(日)



札幌会場



©Expo 2025 2025 大阪・関西万博公式ライセンス商品
©Expo 2027 2027 年国際園芸博覧会公式ライセンス商品

● 大阪・関西万博からGREEN×EXPO 2027へレガシー継承“樹木輸送”プロジェクト「緑配便®」

大阪・関西万博の会期中に会場に植栽されていた樹木を、GREEN×EXPO 2027の会場へ移植

3月4日 大阪・関西万博会場で樹木の積込み

3月5日 安治川口駅から東京貨物ターミナル駅に向けて出発

3月6日 東京貨物ターミナル駅到着、GREEN×EXPO 2027会場へ植栽



● アフター万博イベント「またね。万博」

主催：大阪・関西万博きょうと推進委員会 / 共催：京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業実行委員会

後援：（公社）2025年日本国際博覧会協会 / （公社）2027年国際園芸博覧会協会 / 第43回全国都市緑化フェアin京都丹波実行委員会

（公財）ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 3月14日(土) 京都駅前広場

● トウクントウクが官邸でおしゃべりを開始

○発行状況について

- ・ 2027年国際園芸博覧会協会の広報誌「GREEN × EXPO 2027通信」vol. 6を2025年12月に発行。発行部数は、20,000部。本博覧会の各ステークホルダーに配布中。BtoB向け。
- ・ 開催500日前記者発表会、日本政府苑起工式等レポート、GREEN × EXPO協会サステナビリティ推進部長インタビュー、大阪関西万博の熱気をGREEN × EXPO 2027へつなぐ。
- ・ 次号（vol. 7）は、2026年4～5月に発行予定。



機運醸成の取組（横浜市）



○「1 year to go. GREEN×EXPO 2027ドローンショー」（3月5日、12日）

横浜ならではの港の景観を生かし、GREEN×EXPO 2027の開幕1年前を迎え、機運を醸成するためドローンショーを実施しました。

■日 時：令和8年3月5日（木）、12日（木）
19時から約15分間

■会 場：臨港パーク

■主 催：横浜市

■共 催

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

■内 容

「トゥンクトゥンク」のドローンのほか、
大阪・関西万博からGREEN×EXPO 2027が
バトンを引継ぐ演出とともに、

大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」のドローンも登場

■来場者数：約11,000人（2日間合計）



機運醸成の取組（横浜市）



○機運醸成・期待感創出のためのシティドレッシング

1都2県に乗り入れるみなとみらい線のオリジナルデザインのラッピングトレイン（2編成）の運行を開始しました。また主要駅11駅を含む市内30か所で壁面広告や階段広告を実施しています。



横浜駅
3月初旬～



みなとみらい線（外装）
3月2日～閉幕まで



新横浜駅
3月初旬～



馬車道駅階段広告
3月初旬～

機運醸成の取組（横浜市）

○「GREEN×EXPO 2027 開催1年前発表会」（3月19日）

横浜市、協会、経済界の3者が連動し、成功に向けた機運醸成の取組として開催1年前発表会を実施しました。横浜市の取組や個人版ふるさと納税の返礼品チケットなどを発表するとともに、資源循環型ユニフォームのお披露目するなど、最新情報を紹介しました。



ボランティアユニフォームのお披露目



会場全体記念撮影



登壇者フォトセッション

機運醸成の取組（横浜市）

○トウクトウクを活用したPR

多くの来訪者が集まる公共施設や市内観光地等13か所に、トウクトウクモニュメントを設置し、認知拡大のためのPRを実施しています。



市庁舎フォトスポット



区役所や自動車道への設置



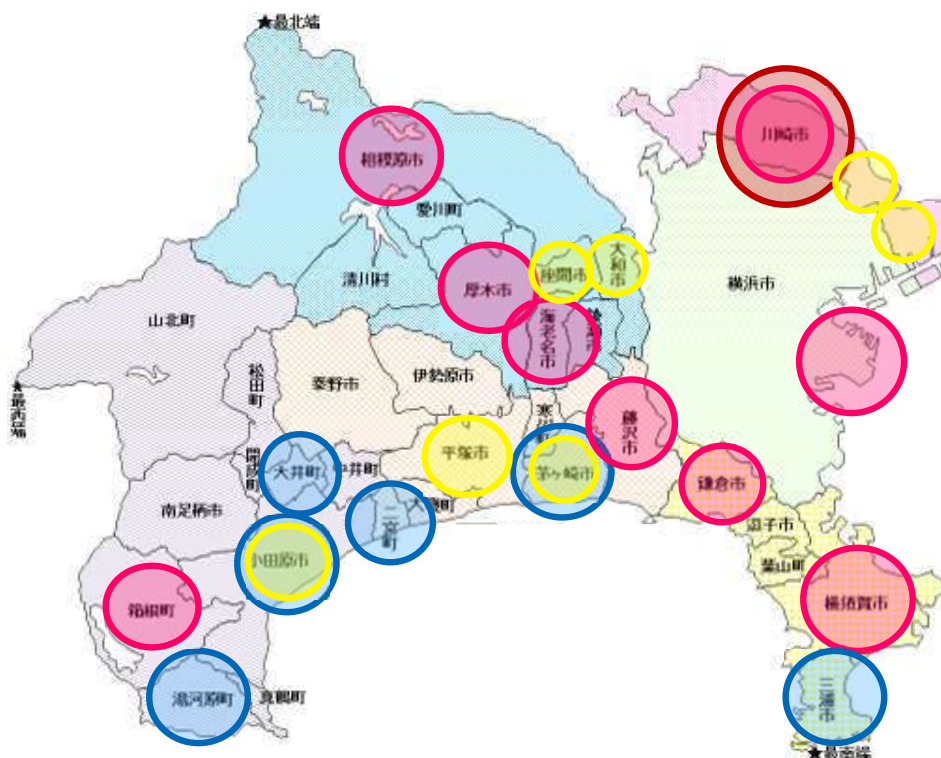
Bigモニュメント（今後設置予定）

【横浜市個人版ふるさと納税】

横浜市個人版ふるさと納税の返礼品に、前売り入場チケットを追加し、令和8年4月1日から、寄附受付を開始します。

開催1年前の3月を中心に

県内全域で面的にPRを実施



県庁
タウンク
タウンク
モニュメント設置

● **開催1年前記念イベント in かながわ(県主催)**
3/7(土)、3/8(日) ラゾーナ川崎

● **イベントへのブース出展【6回】**
・吾妻山菜の花ウォッチング 1/31(土) (二宮町)
・湘南花の展覧会 2/28(土) (茅ヶ崎市)
・大井町産業まつり 1/18(日) (大井町)
・三浦国際市民マラソン 3/1(日) (三浦市)
・小田原梅まつり 2/21(土) (小田原市)
・湯河原梅林「梅の宴」 2/22(日) (湯河原町)

● **シティドレッシング(主要駅等)【12か所】**

・JR川崎駅 2/9～3/1	・JR鎌倉駅 3/2～3/29
・京急川崎駅 3/2～3/29	・京急久里浜駅 3/2～3/22
・JR藤沢駅 3/2～3/29	・JR橋本駅 3/2～3/29
・海老名市自由通路 3/1～3/31	・京王橋本駅 3/2～3/29
・藤沢シティスケープ 2/23～3/8	
・小田急本厚木駅 3/2～3/29	
・小田急箱根湯本駅 3/1～3/31	
・県庁 3/2～閉幕まで(階段装飾)	

● **シティドレッシング(商業施設)【7か所】**

・ビーンズ(川崎市内2店舗)	・イオンモール(大和、座間)
・ラスカ(茅ヶ崎、平塚、小田原)	

<ポスター掲出>

郵便局(123か所)、役所(32市町村)
県機関(県民対応の多い窓口)
県内全警察署、全県立高校 等

<サイネージによる広報>

小田原市内9箇所	相模原市内2箇所
秦野市内8箇所	綾瀬市内1箇所
海老名市内2箇所	ほか、3箇所

機運醸成の取組（神奈川県）



○シティドレッシングの様子

県内(横浜市内を除く)の主要駅においてシティドレッシングを実施



機運醸成の取組（神奈川県）

○GREEN×EXPO 2027 開催1年前記念イベント in かながわ

多くの方に「GREEN×EXPO 2027」を知っていただき、開催への期待を高めるため、記念イベントを開催しました。

■日時:令和8年3月7日(土)・8日(日)

■場所:ラゾーナ川崎プラザ2F ルーフア広場



GREEN×EXPO 2027 応援団による盛り上げ



来場者1000人によるメッセージ

機運醸成の取組（神奈川県）



○絵本によるPR

GREEN×EXPO 2027を盛り上げるため、地球温暖化や、県出展のメインテーマでもあるVibrant INOCHIをテーマに、絵本「あちち地球とだいじなやくそく！ニコとサクの大冒険」を制作しました！



- ・「GREEN×EXPO 2027応援団」の石塚英彦氏による絵本の読み聞かせ動画を制作し、登録者数100万人を超えるYouTubeチャンネル「ボンボンアカデミー」で公開しています。
- ・絵本は、県内の幼稚園・保育所・小学校・学童保育・公立図書館等約5,700施設のほか、県外の学童保育約2,500か所に配付します。
- ・株式会社講談社から一般発売され、全国の書店で販売中です。



各SNSへの投稿による読み聞かせ動画の公開



開催1年前記念イベントでのPR

機運醸成の取組（国土交通省）



○ 総理・首相官邸関連

- 2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議
 - 第3回：入場券価格の決定、体制強化（2025年12月5日）
 - 第4回：最先端のグリーン技術の発信等（2026年3月19日）
→ショート動画を作成し、官邸SNSで発信
- 日伊首脳会談（2026年1月16日）
 - メローニ首相にトウクトウクグッズを贈呈
- 総理レターの発出（2026年1月～）
 - 企業向けの協力依頼レターを発出
- 官邸設置トウクトウクの発話（2026年2月16日）
 - 入邸時に総理との対話イベントを実施
 - 総理SNS、官邸SNS、国交省SNSで情報発信
- 1年前の情報発信（2026年3月22日）
 - 総理X投稿



関係閣僚会議 出典：首相官邸ホームページ
(https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202512/05engei_hakurankai.html)



日伊首脳会談 出典：首相官邸ホームページ
(<https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202601/16italy1.html>)



総理とトウクトウクの対話



総理SNS (X) の投稿



総理・大臣レター



官邸SNS (X/Instagram) の投稿

○ 企業・業界団体向けの取組

- 賀詞交歓会での企業協力要請（2026年1月～）
 - 大臣等より39団体に要請、ポスター等を会場に設置
- 企業向け説明会（2026年2月13日）
 - 国土交通事務次官より出席の約300社に情報発信



賀詞交歓会でのパネル設置



企業向け説明会

機運醸成の取組（国土交通省）



○ 国土交通大臣関連

- トウクトウクの大員表敬訪問（2026年1月21日）
 - 新ポスターのお披露目、グッズのPR
 - 動画化してSNSで発信
- 国土交通省設置トウクトウクの発話（2026年2月16日）
 - 金子大臣との対話の様子をSNSで発信
- 大臣記者会見での発言（2026年2月20日）
 - 前売り入場チケットの販売開始と開催一年前セレモニーについて発言
- 金子大臣の誕生日祝い（2026年2月27日）
 - 「金子大臣、お誕生日おめでとう」とトウクトウクが発話し、大臣をお祝い
- 企業向け協力依頼ビデオメッセージ公開（2026年3月13日）
 - 今後、200団体以上の会合等で活用
- 節目（450日前、400日前、1年前）での大臣・国土交通省SNS発信
 - 450日前：2025年12月24日
 - 400日前：2026年2月12日
 - 1年前：2026年3月19日



大臣表敬訪問



トウクトウクと大臣の対話



金子大臣の誕生日のお祝い



ビデオメッセージ



金子大臣のSNS発信



国土交通省のSNS発信

機運醸成の取組（国土交通省）



○国営公園イベントでのPR

- 沖縄国際洋蘭博覧会：2026年1月24～2月1日 沖縄海洋博記念公園
- JOGA洋らん展：2026年3月13～16日 国営昭和記念公園 など

○その他の取組

- 箱根駅伝沿道での横断幕掲出（2026年1月3日）
 - 国道1号線（横浜駅付近）の歩道橋への横断幕掲出
※横浜国道事務所＋横浜市
- グリーンインフラ産業展（2026年1月28日～30日）
 - グリーンインフラ大賞に「GREEN×EXPO賞」を新設
受賞者：NPO鶴見川源流ネットワーク、町田市ほか
 - PRブースを出展
- 関東地方局（整備局、運輸局、農政局）
横浜グリーンエクスポ機運醸成連携キックオフセミナー
 - 3局合同で機運を一層醸成
- 庁舎での機運醸成
 - 中央合同庁舎2号館、3号館にモニュメントを設置
2/16からは3号館のモニュメントが発話開始
 - 庁舎売店での公式グッズの販売
 - 庁舎モニターでの関連動画放映



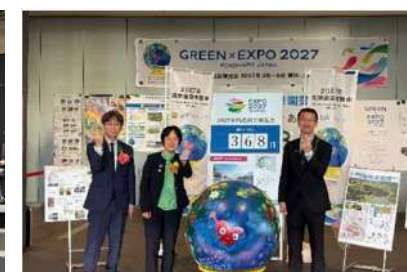
JOGA洋らん展の様子（左：高円宮妃殿下）



箱根駅伝沿道での横断幕掲出



グリーンインフラ大賞表彰式



関東地方局機運醸成連携セミナー



庁舎設置のモニュメント



売店でのグッズ販売

機運醸成の取組（国土交通省）



○ポスター掲出

- 各省庁の協力により登録された無料広告枠へのポスター掲出を実施

（令和8年3月9日時点）

掲出可能な施設数	施設管理者から申し出のあった掲出希望数			
	サイネージ (件)	B1ポスター (枚)	B2ポスター (枚)	A4チラシ (枚)
交通結節点(142件) (SA/PA、道の駅・鉄道駅、空港、フェリー・バスターミナル等)	56	1,366	2,169	31,516
商業・サービス(134件) (全国の旅行代理店・保険会社及び銀行の各支店、イオン、アピタ等のショッピングセンター等)	78	1,699	3,649	88,620
環境・公園・自然保全(70件) (各国営・県営公園、植物園、等)	38	418	2,610	65,956
公共・行政・組合・教育(485件) (国、自治体の庁舎、掲示板、ポートレース場等)	172	3,791	10,677	170,848
文化・スポーツ・レジャー(37件) (美術館、博物館、資料館、劇場等)	18	704	2,128	34,460
医療・福祉(27件) (病院、老人ホーム等)	15	299	1,108	6,291
その他(117件) (各民間企業の本社や執務室内等)	40	604	2,623	9,202
合計(841件)	315	5,821	15,937	250,979



機運醸成の取組（農林水産省）



○イベント出展によるPR

- ・「フードロスから始める市川の未来づくり体験ツアー」（1/31）
- ・「世田谷市場花き部 見学ツアー」（2/11）
- ・「ファーマーズ&キッズフェスタ2026」（2/28～3/1）
- ・「GREEN×EXPO 2027に出かけよう！～開催までもうすぐ1年～」（3/7）
- ・「大阪・関西万博メモリアルキャラバン“未来につなぐ万博展”」

東京会場（2/19～2/22）、福岡会場（2/28～3/1）、札幌会場（3/7～3/8）、仙台会場（3/14～3/15）

○今後の開催予定

- ・「農林水産省消費者の部屋展示『いよいよ1年後に開催！GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）』」（3/16～3/19）
- ・「令和8年度園芸学会春季大会」（3/21～22）



フードロスから始める
市川の未来づくり体験ツアー



ファーマーズ&キッズフェスタ2026



世田谷市場花き部 見学ツアー



未来につなぐ万博展（東京会場）

機運醸成の取組（農林水産省）



○SNSでの発信

- ・1/26にInstagramアカウント『農林水産省【公式】GREEN×EXPO 2027』を開設
- ・X、Instagramでの発信
- ・農林水産省公式YouTube BUZZ MAFF「花いっぱいプロジェクト」での発信



SNSによる発信



BUZZ MAFF花いっぱいプロジェクト
2月9日公開動画

○新聞・広報誌等での掲載

- ・農林水産省Webマガジン「aff」において<今日から使える花知識>を紹介し、GREEN×EXPO 2027応援企画を掲載

○MAFF×EXPO 2027チーム（まふすぼ）での活動

- ・メンバーによる自由な発想により、SNS（X、Instagram）においてGREEN×EXPO 2027に絡めた内容の投稿を実施。
- ・大臣会見にてお花の装飾を実施し、大臣から、お花の産地や生産者の思い等の紹介、機運醸成への意気込み等を発言。
- ・花き農家を訪問して、生産のこだわりやGREEN×EXPO 2027への思い等取材し、note記事を発信。
- ・停泊中の漁業取締船（水産庁所管）の電光掲示板を活用し、全国各地の港においてPRを実施。



大臣会見でのPR



花き農家を取材・発信



漁業取締船でのPR



農林水産省Webマガジン「aff」3月号

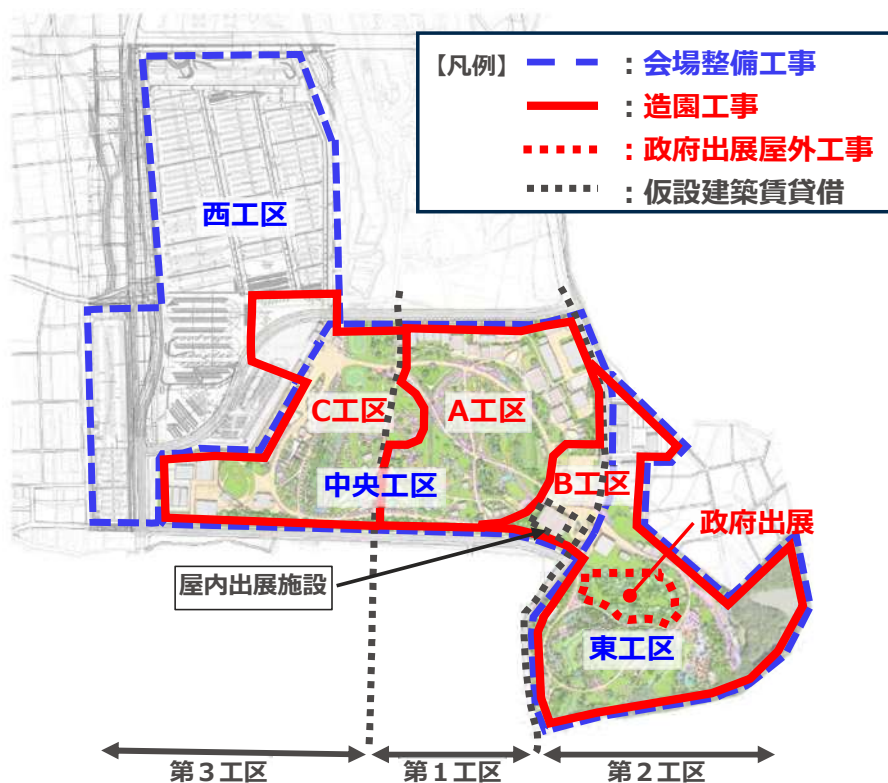


4. 工事・輸送・体制等



協会の工事全体のスケジュール

- 土木基盤、造園工事について、事業者と契約を行い、順次工事を進捗。
- 仮設建築についても、事業者と契約を行い、建築確認申請の手続きを完了した建物から順次工事を進捗。



工事概要【想定】		工期(年度)				
種別	工種	2023	2024	2025	2026	2027
会場整備工事(土木基盤)	中央、東		■	■	■	■
	西			■	■	■
造園工事	植栽・園路広場・コモンズ主催者修景等			■	■	■
仮設建築賃貸借	開発・設計 ～建築～管理～撤去			■	■	■
政府出展の工事	造園、建築、外構等			■	■	■

- (1) 会場整備工事(土木基盤)
 - ・中央工区、東工区(大林組)
2024年8月契約。現在、順次工事を進捗。
 - ・西工区(日本道路)
2025年3月契約。現在、順次工事を進捗。
- (2) 造園工事
 - ・A、B、C工区
 - ・政府出展の屋外工事
 - ・2025年8月契約。
現在、順次工事を進捗。
- (3) 仮設建築賃貸借
 - ・第1工区
2025年3月契約(大和リース)
 - ・第2工区
2025年3月契約(大和リース・TSP太陽JV)
 - ・第3工区
2025年3月契約(TSP太陽)
 - ・屋内出展施設
2025年3月契約(永山祐子・TSP太陽JV)
 - ・現在：建築確認申請等の手続き中
 - ・手続きを完了した建物から順次工事を進捗

輸送対策

- 2025年5月に「GREEN×EXPO 2027来場者輸送実施計画初版」を策定・公表
- 策定後も関係機関等と協議・調整を実施するとともに大阪・関西万博の輸送状況を踏まえ検討を深度化
- 協議・調整状況を踏まえ2026年2月に「GREEN×EXPO 2027来場者輸送実施計画第2版」を策定・公表

■来場者輸送実施計画について

2023年1月 国際園芸博覧会基本計画 策定
(基本方針、開催地・会場へのアクセスの基本方針を定めたもの)

2024年3月 来場者輸送基本計画 策定
(基本となる「前提条件」や「交通機関別考え方」などを定めたもの)

2025年5月 来場者輸送実施計画(初版) 策定
(「交通機関別の考え方」を実現するための具体的な内容を定めたもの)

2026年2月 来場者輸送実施計画(第2版) 策定
(初版から更なる検討や調整を進めた具体的な対応内容を定めるもの)
(随時更新予定(第3版夏頃予定))

2027年3月 GREEN×EXPO 2027 開催

<輸送対策協議会>

来場者輸送計画策定に向け、関係機関の意見や知見を踏まえ、来場者輸送の具体的な対策について、協議、調整を実施

なお、輸送対策協議会の円滑な運営を行うため、協議会に交通手段別のワーキンググループを設置(国、県、市を含め、道路、鉄道、バス・タクシーなどの各事業者等で構成)し、より具体的な内容について協議、調整、対応方策の検討を実施



▲第8回輸送対策協議会の様子(2025年11月4日)

<来場者輸送実施計画(第2版)>

主な変更内容

- ・全日夜間開催に伴う変更
- ・シャトルバスの予約制の導入
- ・会場外駐車場の運用
- ・一般交通への働きかけ(TDMの実施)

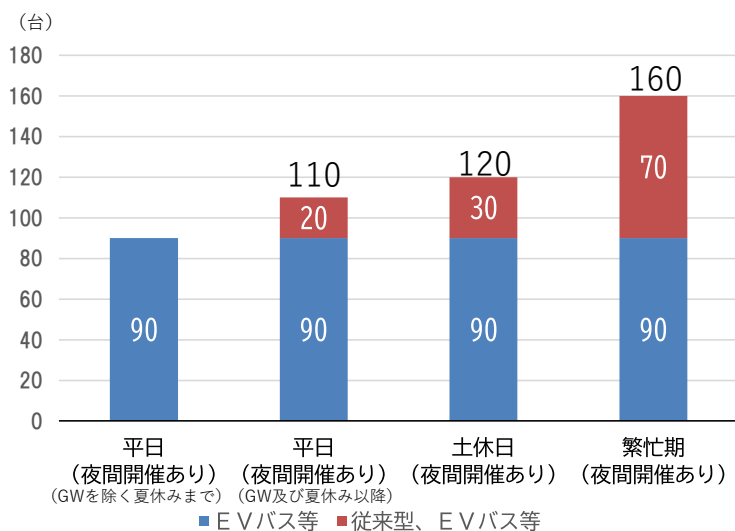
上述の事項を第2版で盛り込んだところ

輸送対策

- 会場近傍4駅から会場まではシャトルバスを運行し、環境に配慮したEVバス等を導入する計画であり、常時必要となる基本台数（90台）についてはおおむね調達の見通しが立っています。
- 繁忙期には生活環境への影響を抑えるため、会場内の駐車場に加えて、会場外にもパークアンドライド（P&R）駐車場を設置します。
- 4駅からのシャトルバス、会場駐車場、P&R駐車場については、いずれも事前予約制を導入します。

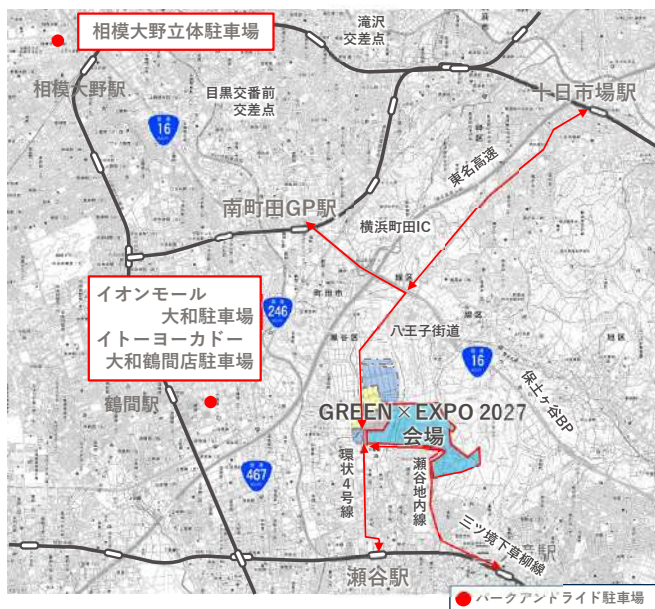
進捗状況

○4駅シャトルバスの調達状況



○会場外駐車場の整備

繁忙期には、生活環境への影響を低減するため、会場外にパークアンドライド駐車場を用意し、会場までのシャトルバスを運行する



○予約制の導入

4駅シャトルバス及び会場駐車場に事前予約制を導入することで、来場時間の平準化や来場者数の分散化を図る

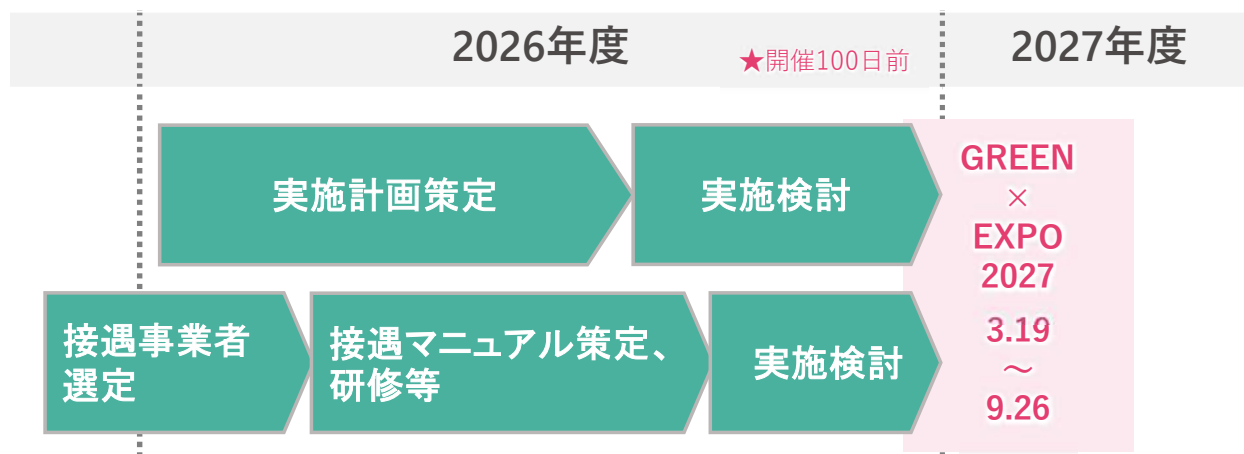


バス運転士及び車両の調達

現在、神奈川県内のバス事業者に加えて、都内を中心に対象を拡げて個別にバス事業者と交渉中であり、概ね確保できる見通し

開会式・閉会式の公式行事の他に、国際理解と友好親善促進を目的に、ナショナルデー（ND）やスペシャルデー（SD）、開催国として開催するジャパンデー（JD）等の行事を行います。また、博覧会会期中に全国「みどりの愛護」のつどい及び全国都市緑化祭を博覧会会場内で開催します。

賓客の接遇については、「接遇基本計画」を基に実施計画を策定し、海外からの賓客等も含め多様な来場者に対応できるよう準備を進めていきます。



○全国「みどりの愛護」のつどいの概要

全国の公園緑地等の愛護団体等が一堂に集い、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進するとともに、緑を守り育てる国民運動を積極的に推進していくことを目的として、毎年開催されています。

○全国都市緑化祭の概要

都市緑化に対する国民の理解と協力を得ることにより、都市緑化の推進を図り、もって潤いのあるまちづくりに寄与することを目的として、毎年開催されています。

○開催時期

2027年初夏（5月から6月頃）のうち各1日

ボランティア



○ボランティア

GREEN×EXPOを共に創り上げ、支えていただくパートナーとして多様な方々に参加いただけるボランティアを募集しています。ボランティアの方々には、魅力ある会場づくりのため、来場者の方々への御案内や花壇のメンテナンスなどのサポートを行っていただきます。

<ボランティアの種類・募集期間>

①花・緑ガイドボランティア 募集終了（募集人数 約200人）

【募集結果】

- ・応募状況： 3,493人
- ・抽選により300人を選考し、応募者全員に結果を通知

②植物管理ボランティア（募集人数 約2,000人） 2026年2月5日（木）～

③運営ボランティア（募集人数 約10,000人） 2026年4月30日（木）

※横浜市民への周知は、横浜市出展エリアで活動するボランティアとあわせて横浜市・GREEN×EXPO協会が連携して実施



GREEN×EXPO 2027 植物管理ボランティア・運営ボランティア募集チラシ

GREEN × EXPO協会 体制



○GREEN × EXPO協会
 (公益社団法人 2027 国際園芸博覧会協会)

組織・人員

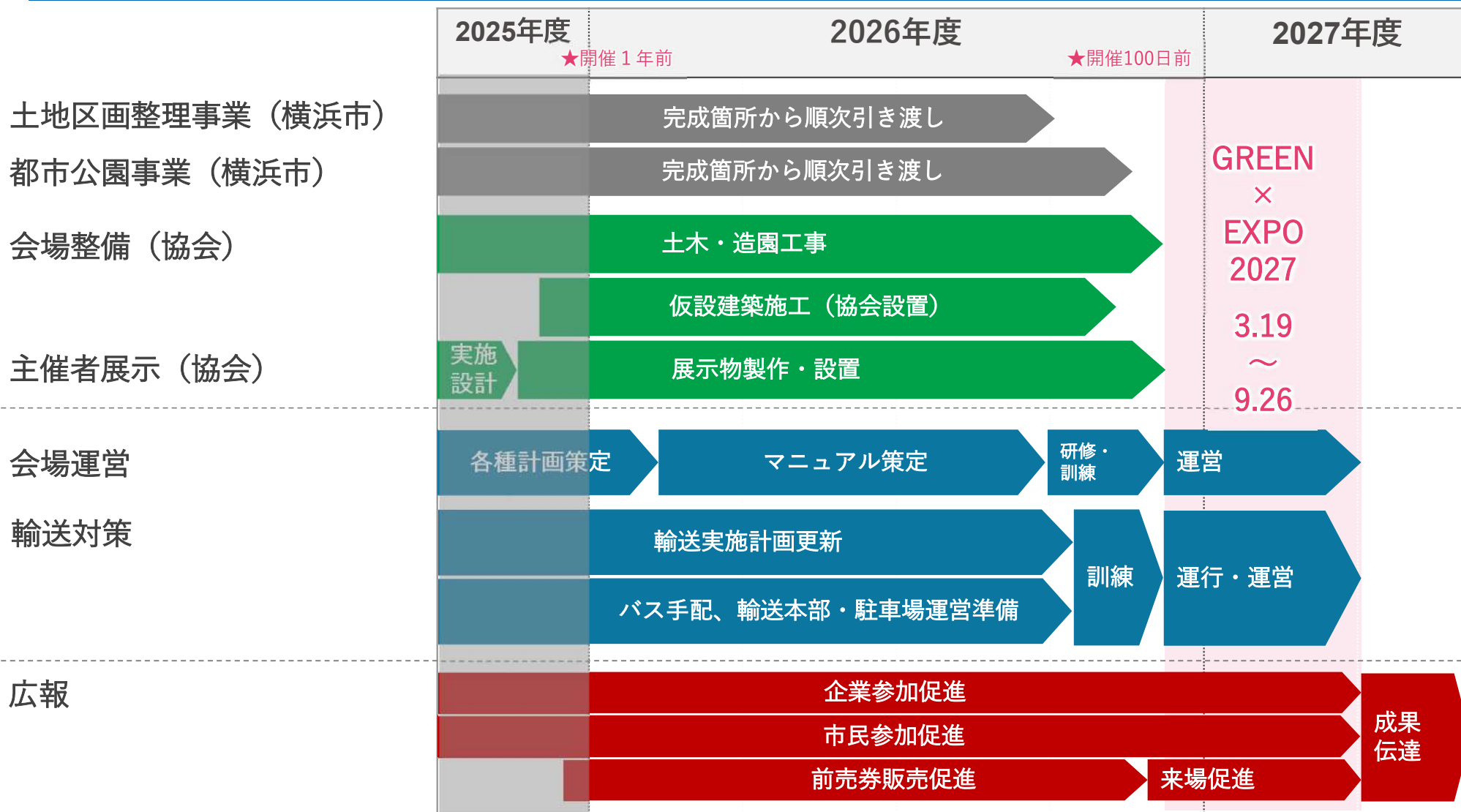
<法人格> 公益社団法人 2022年12月～

<組織> 3室・22部・32課

<職員数> 307名 (2026年3月25日)

※うち19名が上瀬谷現地事務所で勤務

全体スケジュール



全体スケジュール

